

平成 29 年度補正予算 産業データ共有促進事業費補助金

製造プラットフォームオープン連携事業

サブシステムプロトタイプ実装仕様

(HDS／HCM編)

Ver. 1.1

2019 年 3 月 1 日

一般社団法人

インダストリアル・バリューチェーン・イニシアティブ

変更履歴

Rev.	変更年月日	変更内容	変更者
1.0	2018/10/31	新規作成	日立製作所
1.1	2019/02/15	平成 30 年度 CIOF 事業完成図書	日立製作所
1.2	2019/03/01	フォーマットと体裁を変更	IVI

目次

1.	はじめに	1
1.1	本書の目的	1
1.2	対象読者	1
1.3	関連ドキュメント	1
1.4	用語の説明	1
1.5	ソースコード	2
2.	基本事項	3
2.1	記載範囲	3
2.2	動作条件	3
2.2.1	HDS	3
2.2.2	HCM	4
2.3	API における共通仕様	4
2.3.1	通信プロトコル	4
2.3.2	パラメータの形式	4
2.3.3	応答	4
2.3.4	ネーミングルール	5
2.4	ユーザ認証	6
2.4.1	HDS	6
2.4.2	HCM	6
2.5	ID	6
2.5.1	ID の生成方針	6
2.5.2	ID の生成規則	7
3.	HDS 機能仕様	8
3.1	機能概要	8
3.2	API 一覧	8
3.3	API 仕様	9
3.3.1	データ辞書操作	9
3.3.2	データモデル操作	12
3.3.3	データ連結操作	15
3.3.4	変換マップ操作	18
3.3.5	サービス辞書操作	21
3.3.6	プロセスモデル操作	24
3.3.7	イベントモデル操作	27
3.3.8	カテゴリ辞書操作	30
3.3.9	カテゴリ操作	33
4.	HCM 機能仕様	37

4.1	機能概要.....	37
4.2	画面一覧.....	37
4.3	画面遷移.....	38
4.4	画面レイアウト仕様	38
4.4.1	ログイン画面	38
4.4.2	メニュー画面	39
4.4.3	取引契約登録(プッシュ型)画面	40
4.4.4	取引契約登録(プル型)画面.....	42
4.4.5	取引契約一覧画面.....	43
4.4.6	取引契約詳細画面.....	47
4.4.7	マッピング画面	53
4.4.8	取引契約プロファイル画面	55
4.4.9	取引データプロファイル画面	59
4.4.10	取引サービスプロファイル画面	62
4.4.11	サンプルデータ画面	65
5.	データ構造.....	68
5.1	データ辞書	69
5.1.1	共通データ辞書(SDD)・個別データ辞書(ADD)	69
5.1.2	データモデル(DCM).....	69
5.1.3	データ定義項目(DPD).....	72
5.1.4	データ連結(DRM)	72
5.2	サービス辞書	73
5.2.1	共通サービス辞書(SSD)・個別サービス辞書(ASD)	73
5.2.2	プロセスモデル(PCM).....	74
5.2.3	イベントモデル(ECM).....	76
5.3	変換マップ	78
5.3.1	辞書変換マップ(DTM)	78
5.3.2	項目変換マップ(PTM).....	80
5.4	カテゴリ辞書	80
5.4.1	カテゴリ辞書(SCD)	80
5.4.2	データカテゴリ(DCC)・プロセスカテゴリ(PCC)・イベントカテゴリ(ECC).....	80

1. はじめに

1.1 本書の目的

本書は、2018 年度「製造プラットフォームオープン連携事業」における、サブシステムを構成する HDS および HCM の仕様に関して記載する。

1.2 対象読者

2018 年度「製造プラットフォームオープン連携事業」における、プロトタイプ開発関係者を対象とする。

1.3 関連ドキュメント

本資料に関連するドキュメントを以下に示す。

表 1-1: 関連ドキュメント

No.	ドキュメント名	説明
1	システム基本要件仕様 Ver.1.0.02 (2018 年 12 月 1 日)	製造プラットフォームオープン連携事業におけるシステム基本要件仕様書。本書は、このドキュメントに記載されたアーキテクチャ、基本要件仕様に基づき作成した。
2	サブシステムプロトタイプ実装仕様 (HCT/HCS 編) Ver 1.1 (2018 年 11 月 30 日)	製造プラットフォームオープン連携事業における、サブシステムを構成する HCT および HCS の仕様書。

1.4 用語の説明

本資料で用いる用語は、「表 1-1: 関連ドキュメント」の No.1 を参照のこと。

1.5 ソースコード

本仕様書に対応したソースコードは、以下で公開されています。

<https://github.com/ivi-ciof/>

2. 基本事項

2.1 記載範囲

2018 年度「製造プラットフォームオープン連携事業」のシステム構成図と本書の記載範囲を示す。

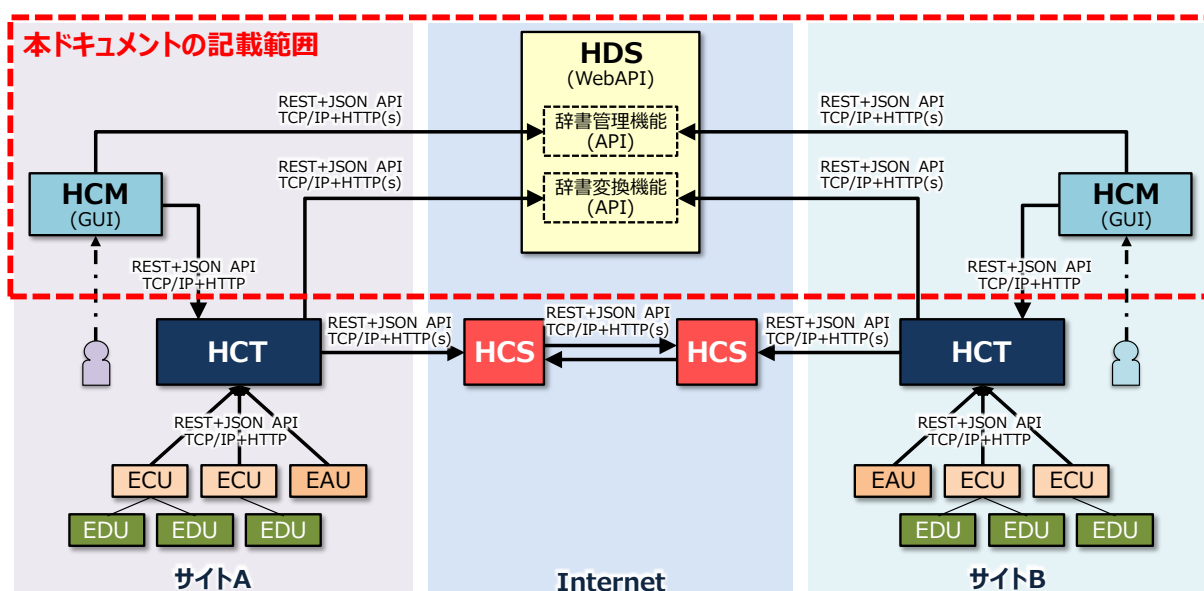


図 2-1: システム構成図と記載範囲

2.2 動作条件

2.2.1 HDS

HDS は、インターネット上のパブリッククラウドに配置する。

表 2-1: 動作条件(HDS)

No.	項目	条件
1	OS	Linux (64bit)

No.	項目	条件
2	CPU	2 Core 以上
3	メモリ	4 GB 以上
4	HDD	空き容量 50 GB 以上

2.2.2 HCM

HCM は、各サイトのネットワーク内に配置する。

表 2-2: 動作条件(HCM)

No.	項目	条件
1	OS	Windows 10 Pro
2	CPU	Core i3 以上
3	メモリ	4 GB 以上
4	HDD	空き容量 100 GB 以上
5	ネットワーク	以下のように、各モジュール間で通信を行う(矢印は通信方向を示す)。 HCM → HCT: HTTP(TCP ポート: 80) HCM → HDS: HTTP(s)(TCP ポート: 443)
6	画面解像度	1024×768 以上

2.3 API における共通仕様

2.3.1 通信プロトコル

HTTP(Hypertext Transfer Protocol)/1.1 に準拠する。

2.3.2 パラメータの形式

通信に用いる文字コードは UTF-8(BOM なし)とする。

要求パラメータおよび応答パラメータは原則 JSON 形式とする。

2.3.3 応答

2.3.3.1 HTTP ステータスコード

処理結果を示すために次に示す標準的な HTTP のステータスコードを使用する。

表 2-3: HTTP ステータスコード

No.	ステータスコード※1	説明
1	2XX	Success リクエストが適切に処理されたことを示す。
2	4XX	Bad request リクエストヘッダ、クエリパラメータ、またはリクエストボディが不正であることを示す。
3	5XX	Server error サーバで内部エラーが発生したことを示す。

※1: ステータスコードは、基本的には 200、400、500 を用いるが、必要に応じて、HTTP ステータスの本来の意味に従って 401 などを用いても良い。

2.3.3.2 応答ヘッダ

応答ヘッダには「Content-Type: application/json」を付与する。

ただし、エラー時には上記以外が付与されることがある。

(エラー時に付与される例: 「Content-Type: text/html」)

2.3.4 ネーミングルール

提供する API のネーミングルールは以下の通りである。

- ① URL には、API であることを表す「api」と、API のバージョンを含める※1。
- ② URL は、スネイクケースで表現する。
- ③ URL には、API 提供元の種別(hcs, hct, hds)を含める。
- ④ クエリパラメータの項目名はスネイクケースで表現する。
- ⑤ システム基本要件仕様に定義されている 3 文字の略語(英小文字)を単語として使用することができる※2。
- ⑥ JSON の項目名(キー)はスネイクケースで表現する。

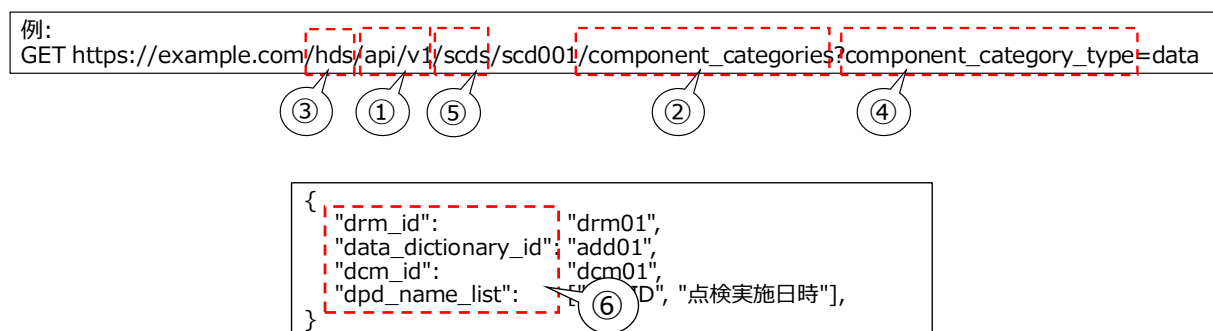


図 2-2: ネーミングルールの例

- ※1: 2018 年度「製造プラットフォームオープン連携事業」プロトタイプ内に作成する API はすべて「v1」とする。
- ※2: その他の単語の省略形は、将来的に競合する可能性があるため、URL やパラメータでは極力使用しない。(例: dictionary を dic、source を src と表すことはしない)

2.4 ユーザ認証

2.4.1 HDS

HDS の接続には、RFC7235 の規定に基づき、BASIC 認証のパラメータを HTTP の Authorization ヘッダに含める。

表 2-4: 共通のリクエストヘッダ

No.	項目名	必須	種別	内容
1	Authorization	必須	ヘッダ	HDS が提供するすべての API で認証が必要となる。認証方法は Basic 認証とし、Authorization ヘッダに「Basic {basic-credentials}」を指定する。 {basic-credentials}は ID とパスワードをコロン ":" でつなぎ、Base64 でエンコードした値。

2.4.2 HCM

HCM の接続には、ユーザ ID とパスワードを用いた HCM 独自認証を使用する。

2.5 ID

2.5.1 ID の生成方針

データなどを一意に識別する際に必要となる各種 ID の生成方針を以下に示す。

- ① 各種データ(共通データ辞書、変換マップ、など)を表す ID は、データの登録用 API を提供するモジュール(サーバ側)が、登録処理時に採番する(HDS や HCM などのモジュールなど、登録用 API のないオブジェクトを表す ID は事前に定めた固定値とする)。
- ② ID は 16 進(0~9、a~f)で表される 32 桁(固定長)とする。
 - ・ 1~4 桁 : 登録用 API を提供するモジュール固有の値(事前に定めた固有値)
 - ・ 5~32 桁 : モジュール内(環境毎)で一意な値

なお、各モジュールが ID を採番する際、あるいは自モジュール(オブジェクト)の ID を手動で設

定する際の先頭 4 桁の範囲を以下に示す。

表 2-5: ID における先頭 4 桁の範囲

No.	モジュール(オブジェクト)名	略称	先頭 4 桁の範囲
1	連携サーバ	HCS	1000～1fff
2	連携ターミナル	HCT	2000～2fff
3	連携マネージャ	HCM	3000～3fff
4	辞書サーバ	HDS	4000～4fff
5	エッジコントローラ	ECU	5000～5fff
6	エッジアプリケーション	EAU	6000～6fff
7	エッジデバイス	EDU	7000～7fff
8	取引事業者	TAP	8000～8fff

2.5.2 ID の生成規則

HDS において生成している各 ID の生成規則を以下に示す。

表 2-6: HDS において生成している各 ID の生成規則

No.	データ名(略称)	項目名	生成規則
1	共通データ辞書(SDD)	data_dictionary_id	[固定値(4 桁)(※1)] + 環境毎に固有な値(28 桁)
2	個別データ辞書(ADD)	data_dictionary_id	
3	データモデル(DCM)	dcm_id	
4	データ連結(DRM)	drm_id	
5	共通サービス辞書(SSD)	service_dictionary_id	
6	個別サービス辞書(ASD)	service_dictionary_id	
7	プロセスモデル(PCM)	pcm_id	
8	イベントモデル(ECM)	ecm_id	
9	辞書変換マップ(DTM)	dtm_id	
10	カテゴリ辞書(SCD)	category_dictionary_id	
11	データカテゴリ(DCC)	component_category_id	
12	プロセスカテゴリ(PCC)	component_category_id	
13	イベントカテゴリ(ECC)	component_category_id	

※1: 本年度の実証環境において用いる固定値(4 桁)は以下の通り。

本番環境：4000

試験環境：4001

3. HDS 機能仕様

本章では、HDS の機能仕様について示す。

3.1 機能概要

HDS は、データ辞書やサービス辞書、変換マップなどのデータを保持し、これらのデータを操作(追加、更新、削除、取得、一覧取得)する API を提供する。

3.2 API 一覧

HDS が提供する API の一覧を以下に示す(表 3-1)。

表 3-1: HDS が提供する API 一覧

No.	名称	内容※1
1	データ辞書操作	共通データ辞書(SDD)、または個別データ辞書(ADD)を操作する。
2	データモデル操作	データモデル(DCM)を操作する。
3	データ連結操作	データ連結(DRM)を操作する。
4	変換マップ操作	変換マップ(DTM/PTM)を操作する。
5	サービス辞書操作	共通サービス辞書(SSD)、または個別サービス辞書(ASD)を操作する。
6	プロセスモデル操作	プロセスモデル(PCM)を操作する。
7	イベントモデル操作	イベントモデル(ECM)を操作する。
8	カテゴリ辞書操作	カテゴリ辞書(SCD)を操作する。
9	カテゴリ操作	データカテゴリ(DCC)、プロセスカテゴリ(PCC)、イベントカテゴリ(ECC)を操作する。

※1: 「操作」には、追加、更新、削除、取得、一覧照会が含まれる。

3.3 API 仕様

本節では、各 API の詳細を示す。

表中の要求パラメータおよび応答パラメータにおける「種別」を以下に示す。

- ・ パス : 各 API を呼び出すリソース URL のパス中に含めて指定する。
- ・ クエリ : 各 API を呼び出す時のクエリ文字列として指定する。
- ・ ボディ : 各 API を呼び出す時のリクエストボディに含めて指定する。

なお、各種データの追加 API および更新 API の要求パラメータで用いるデータ構造において、値の指定ができない(指定しても他の値で上書きされる)項目や、値の指定を省略できる項目がある。詳細は別紙 1 を参照のこと。

3.3.1 データ辞書操作

共通データ辞書(SDD)、または個別データ辞書(ADD)を操作する API 一覧を以下に示す。

表 3-2: API 一覧(データ辞書操作)

No.	名称	内容
1	データ辞書追加 API	共通データ辞書、または個別データ辞書を追加する。
2	データ辞書更新 API	共通データ辞書、または個別データ辞書を更新する。
3	データ辞書削除 API	共通データ辞書、または個別データ辞書を削除する。
4	データ辞書取得 API	共通データ辞書、または個別データ辞書を取得する。
5	データ辞書一覧照会 API	共通データ辞書、または個別データ辞書の一覧を照会する。

3.3.1.1 データ辞書追加 API

表 3-3: データ辞書操作(データ辞書追加 API)

API 名称	データ辞書追加 API				
処理概要	データ辞書を追加する。				
HTTP メソッド	POST				
リソース URL	/hds/api/v1/data_dictionaries				
利用可能ロール	一般ユーザ、管理ユーザ				
要求ヘッダ	Accept: application/json Content-Type: application/json Authorization: Basic {basic-credentials}				
要求パラメータ	パラメータ名	型	必須	種別	説明
	—	JsonObject	必須	ボディ	追加するデータ辞書※1
応答ヘッダ	Content-Type: application/json				
応答パラメータ	パラメータ名	型	必須	種別	説明
	—	JsonObject	必須	ボディ	追加されたデータ辞書※1

※1: データ構造の詳細は「5.1.1 共通データ辞書(SDD)・個別データ辞書(ADD)」参照のこと。

3.3.1.2 データ辞書更新 API

表 3-4: データ辞書操作(データ辞書更新 API)

API 名称	データ辞書更新 API				
処理概要	データ辞書を更新する。				
HTTP メソッド	PUT				
リソース URL	/hds/api/v1/data_dictionaries/{data_dictionary_id}				
利用可能ロール	一般ユーザ※1、管理ユーザ				
要求ヘッダ	Accept: application/json Content-Type: application/json Authorization: Basic {basic-credentials}				
要求パラメータ	パラメータ名	型	必須	種別	説明
	data_dictionary_id	String	必須	パス	更新するデータ辞書の ID
	—	JsonObject	必須	ボディ	更新するデータ辞書※2
応答ヘッダ	Content-Type: application/json				
応答パラメータ	パラメータ名	型	必須	種別	説明
	—	JsonObject	必須	ボディ	更新されたデータ辞書※2

※1: 自ユーザが追加したデータにのみアクセス可。

※2: データ構造の詳細は「5.1.1 共通データ辞書(SDD)・個別データ辞書(ADD)」参照のこと。

3.3.1.3 データ辞書削除 API

表 3-5: データ辞書操作(データ辞書削除 API)

API 名称	データ辞書削除 API				
処理概要	データ辞書を削除する。				
HTTP メソッド	DELETE				
リソース URL	/hds/api/v1/data_dictionaries/{data_dictionary_id}				
利用可能ロール	一般ユーザ※1、管理ユーザ				
要求ヘッダ	Accept: application/json Authorization: Basic {basic-credentials}				
要求パラメータ	パラメータ名	型	必須	種別	説明
	data_dictionary_id	String	必須	パス	データ辞書 ID
応答ヘッダ	なし				
応答パラメータ	パラメータ名	型	必須	種別	説明
	なし	—	—	—	—

※1: 自ユーザが追加したデータにのみアクセス可。

3.3.1.4 データ辞書取得 API

表 3-6: データ辞書操作(データ辞書取得 API)

API 名称	データ辞書取得 API				
処理概要	データ辞書を取得する。				
HTTP メソッド	GET				
リソース URL	/hds/api/v1/data_dictionaries/{data_dictionary_id}				
利用可能ロール	一般ユーザ※1、管理ユーザ				
要求ヘッダ	Accept: application/json Authorization: Basic {basic-credentials}				
要求パラメータ	パラメータ名	型	必須	種別	説明
	data_dictionary_id	String	必須	パス	データ辞書 ID
応答ヘッダ	Content-Type: application/json				
応答パラメータ	パラメータ名	型	必須	種別	説明
	—	JsonObject	必須	ボディ	取得されたデータ辞書※2

※1: 自ユーザが追加したデータにのみアクセス可。一覧照会ではアクセス可のデータのみ取得可能。

ただし、共通データ辞書／共通サービス辞書の場合はすべてのユーザがアクセス可。

※2: データ構造の詳細は「5.1.1 共通データ辞書(SDD)・個別データ辞書(ADD)」参照のこと。

3.3.1.5 データ辞書一覧照会 API

表 3-7: データ辞書操作(データ辞書一覧照会 API)

API 名称	データ辞書一覧照会 API				
処理概要	データ辞書を一覧照会する。				
HTTP メソッド	GET				
リソース URL	/hds/api/v1/data_dictionaries				
利用可能ロール	一般ユーザ※1、管理ユーザ				
要求ヘッダ	Accept: application/json Authorization: Basic {basic-credentials}				
要求パラメータ	パラメータ名	型	必須	種別	説明
	data_dictionary_type	String	必須	クエリ	取得するデータ辞書の区分。 ・個別データ辞書: actual ・共通データ辞書: specific
応答ヘッダ	Content-Type: application/json				
応答パラメータ	パラメータ名	型	必須	種別	説明
	—	JsonObject	必須	ボディ	一覧照会されたデータ辞書※ 2の配列

※1: 自ユーザが追加したデータにのみアクセス可。一覧照会ではアクセス可のデータのみ取得可能。

ただし、共通データ辞書／共通サービス辞書の場合はすべてのユーザがアクセス可。

※2: データ構造の詳細は「5.1.1 共通データ辞書(SDD)・個別データ辞書(ADD)」参照のこと。

3.3.2 データモデル操作

データモデル(DCM)を操作する API 一覧を以下に示す。

表 3-8: API 一覧(データモデル操作)

No.	名称	内容
1	データモデル追加 API	データモデルを追加する。
2	データモデル更新 API	データモデルを更新する。
3	データモデル削除 API	データモデルを削除する。
4	データモデル取得 API	データモデルを取得する。
5	データモデル一覧照会 API	データモデルの一覧を照会する。

3.3.2.1 データモデル追加 API

表 3-9: データモデル操作(データモデル追加 API)

API 名称	データモデル追加 API				
処理概要	データモデルを追加する。				
HTTP メソッド	POST				
リソース URL	/hds/api/v1/data_dictionaries/{data_dictionary_id}/dcms				
利用可能ロール	一般ユーザ※1、管理ユーザ				
要求ヘッダ	Accept: application/json Content-Type: application/json Authorization: Basic {basic-credentials}				
要求パラメータ	パラメータ名	型	必須	種別	説明
	data_dictionary_id	String	必須	パス	データ辞書 ID
	—	JsonObject	必須	ボディ	追加するデータモデル※2
応答ヘッダ	Content-Type: application/json				
応答パラメータ	パラメータ名	型	必須	種別	説明
	—	JsonObject	必須	ボディ	追加されたデータモデル※2

※1: 自ユーザが追加したデータ辞書に関連するデータにのみアクセス可。

※2: データ構造の詳細は「5.1.2 データモデル(DCM)」参照のこと。

3.3.2.2 データモデル更新 API

表 3-10: データモデル操作(データモデル更新 API)

API 名称	データモデル更新 API				
処理概要	データモデルを更新する。				
HTTP メソッド	PUT				
リソース URL	/hds/api/v1/data_dictionaries/{data_dictionary_id} /dcms/{dcm_id}				
利用可能ロール	一般ユーザ※1、管理ユーザ				
要求ヘッダ	Accept: application/json Content-Type: application/json Authorization: Basic {basic-credentials}				
要求パラメータ	パラメータ名	型	必須	種別	説明
	data_dictionary_id	String	必須	パス	データ辞書 ID
	dcm_id	String	必須	パス	データモデル ID
	—	JsonObject	必須	ボディ	更新するデータモデル※2
応答ヘッダ	Content-Type: application/json				
応答パラメータ	パラメータ名	型	必須	種別	説明
	—	JsonObject	必須	ボディ	更新されたデータモデル※2

※1: 自ユーザが追加したデータ辞書に関連するデータにのみアクセス可。

※2: データ構造の詳細は「5.1.2 データモデル(DCM)」参照のこと。

3.3.2.3 データモデル削除 API

表 3-11: データモデル操作(データモデル削除 API)

API 名称	データモデル削除 API				
処理概要	データモデルを削除する。				
HTTP メソッド	DELETE				
リソース URL	/hds/api/v1/data_dictionaries/{data_dictionary_id} /dcms/{dcm_id}				
利用可能ロール	一般ユーザ※1、管理ユーザ				
要求ヘッダ	Accept: application/json Authorization: Basic {basic-credentials}				
要求パラメータ	パラメータ名	型	必須	種別	説明
	data_dictionary_id	String	必須	パス	データ辞書 ID
	dcm_id	String	必須	パス	データモデル ID
応答ヘッダ	なし				
応答パラメータ	パラメータ名	型	必須	種別	説明
	なし	—	—	—	—

※1: 自ユーザが追加したデータ辞書に関連するデータにのみアクセス可。

3.3.2.4 データモデル取得 API

表 3-12: データモデル操作(データモデル取得 API)

API 名称	データモデル取得 API				
処理概要	データモデルを取得する。				
HTTP メソッド	GET				
リソース URL	/hds/api/v1/data_dictionaries/{data_dictionary_id} /dcms/{dcm_id}				
利用可能ロール	一般ユーザ※1、管理ユーザ				
要求ヘッダ	Accept: application/json Authorization: Basic {basic-credentials}				
要求パラメータ	パラメータ名	型	必須	種別	説明
	data_dictionary_id	String	必須	パス	データ辞書 ID
	dcm_id	String	必須	パス	データモデル ID
応答ヘッダ	Content-Type: application/json				
応答パラメータ	パラメータ名	型	必須	種別	説明
	—	JsonObject	必須	ボディ	取得されたデータモデル※2

※1: 自ユーザが追加したデータ辞書に関連するデータにのみアクセス可。

ただし、共通データ辞書／共通サービス辞書に関するデータの場合はすべてのユーザがアクセス可。

※2: データ構造の詳細は「5.1.2 データモデル(DCM)」参照のこと。

3.3.2.5 データモデル一覧照会 API

表 3-13: データモデル操作(データモデル一覧照会 API)

API 名称	データモデル一覧照会 API				
処理概要	データモデルを一覧照会する。				
HTTP メソッド	GET				
リソース URL	/hds/api/v1/data_dictionaries/{data_dictionary_id} /dcms				
利用可能ロール	一般ユーザ※1、管理ユーザ				
要求ヘッダ	Accept: application/json Authorization: Basic {basic-credentials}				
要求パラメータ	パラメータ名	型	必須	種別	説明
	data_dictionary_id	String	必須	パス	データ辞書 ID
応答ヘッダ	Content-Type: application/json				
応答パラメータ	パラメータ名	型	必須	種別	説明
	—	JsonObject	必須	ボディ	一覧照会されたデータモデル※2の配列

※1: 自ユーザが追加したデータ辞書に関連するデータにのみアクセス可。

ただし、共通データ辞書／共通サービス辞書に関するデータの場合はすべてのユーザがアクセス可。

※2: データ構造の詳細は「5.1.2 データモデル(DCM)」参照のこと。

3.3.3 データ連結操作

データ連結(DRM)を操作する API 一覧を以下に示す。

表 3-14: API 一覧(データ連結操作)

No.	名称	内容
1	データ連結追加 API	データ連結を追加する。
2	データ連結更新 API	データ連結を更新する。
3	データ連結削除 API	データ連結を削除する。
4	データ連結取得 API	データ連結を取得する。
5	データ連結一覧照会 API	データ連結の一覧を照会する。

3.3.3.1 データ連結追加 API

表 3-15: データ連結操作(データ連結追加 API)

API 名称	データ連結追加 API				
処理概要	データ連結を追加する。				
HTTP メソッド	POST				
リソース URL	/hds/api/v1/data_dictionaries/{data_dictionary_id}/drms				
利用可能ロール	一般ユーザ※1、管理ユーザ				
要求ヘッダ	Accept: application/json Content-Type: application/json Authorization: Basic {basic-credentials}				
要求パラメータ	パラメータ名	型	必須	種別	説明
	data_dictionary_id	String	必須	パス	データ辞書 ID
	—	JsonObject	必須	ボディ	追加するデータ連結※2 ※3
応答ヘッダ	Content-Type: application/json				
応答パラメータ	パラメータ名	型	必須	種別	説明
	—	JsonObject	必須	ボディ	追加されたデータ連結※2

※1: 自ユーザが追加したデータ辞書に関連するデータにのみアクセス可。

※2: データ構造の詳細は「5.1.4 データ連結(DRM)」参照のこと。

※3: 以下に該当するデータ連結は、HCM ではサポート対象外となる。

- ・ 連結元 DCM の ID(dcm_id)と連結先 DCM の ID(target_dcm_id)に同じ DCM ID が指定されている。
- ・ 連結元 DCM の ID(dcm_id)と連結先 DCM の ID(target_dcm_id)の組み合わせが、すでに登録されているデータ連結と同じである。

3.3.3.2 データ連結更新 API

表 3-16: データ連結操作(データ連結更新 API)

API 名称	データ連結更新 API				
処理概要	データ連結を更新する。				
HTTP メソッド	PUT				
リソース URL	/hds/api/v1/data_dictionaries/{data_dictionary_id} /drms/{drm_id}				
利用可能ロール	一般ユーザ※1、管理ユーザ				
要求ヘッダ	Accept: application/json Content-Type: application/json Authorization: Basic {basic-credentials}				
要求パラメータ	パラメータ名	型	必須	種別	説明
	data_dictionary_id	String	必須	パス	データ辞書 ID
	drm_id	String	必須	パス	データ連結 ID
	—	JsonObject	必須	ボディ	更新するデータ連結※2 ※3
応答ヘッダ	Content-Type: application/json				
応答パラメータ	パラメータ名	型	必須	種別	説明
	—	JsonObject	必須	ボディ	更新されたデータ連結※2

※1: 自ユーザが追加したデータ辞書に関連するデータにのみアクセス可。

※2: データ構造の詳細は「5.1.4 データ連結(DRM)」参照のこと。

※3: 以下に該当するデータ連結は、HCM ではサポート対象外となる。

- ・ 連結元 DCM の ID(dcm_id)と連結先 DCM の ID(target_dcm_id)に同じ DCM ID が指定されている。
- ・ 連結元 DCM の ID(dcm_id)と連結先 DCM の ID(target_dcm_id)の組み合わせが、すでに登録されているデータ連結と同じである。

3.3.3.3 データ連結削除 API

表 3-17: データ連結操作(データ連結削除 API)

API 名称	データ連結削除 API				
処理概要	データ連結を削除する。				
HTTP メソッド	DELETE				
リソース URL	/hds/api/v1/data_dictionaries/{data_dictionary_id} /drms/{drm_id}				
利用可能ロール	一般ユーザ※1、管理ユーザ				
要求ヘッダ	Accept: application/json Authorization: Basic {basic-credentials}				
要求パラメータ	パラメータ名	型	必須	種別	説明
	data_dictionary_id	String	必須	パス	データ辞書 ID
	drm_id	String	必須	パス	データ連結 ID
応答ヘッダ	なし				
応答パラメータ	パラメータ名	型	必須	種別	説明
	なし	—	—	—	—

※1: 自ユーザが追加したデータ辞書に関連するデータにのみアクセス可。

3.3.3.4 データ連結取得 API

表 3-18: データ連結操作(データ連結取得 API)

API 名称	データ連結取得 API				
処理概要	データ連結を取得する。				
HTTP メソッド	GET				
リソース URL	/hds/api/v1/data_dictionaries/{data_dictionary_id} /drms/{drm_id}				
利用可能ロール	一般ユーザ※1、管理ユーザ				
要求ヘッダ	Accept: application/json Authorization: Basic {basic-credentials}				
要求パラメータ	パラメータ名	型	必須	種別	説明
	data_dictionary_id	String	必須	パス	データ辞書 ID
	drm_id	String	必須	パス	データ連結 ID
応答ヘッダ	Content-Type: application/json				
応答パラメータ	パラメータ名	型	必須	種別	説明
	—	JsonObject	必須	ボディ	取得されたデータ連結※2

※1: 自ユーザが追加したデータ辞書に関連するデータにのみアクセス可。

ただし、共通データ辞書／共通サービス辞書に関するデータの場合はすべてのユーザがアクセス可。

※2: データ構造の詳細は「5.1.4 データ連結(DRM)」参照のこと。

3.3.3.5 データ連結一覧照会 API

表 3-19: データ連結操作(データ連結一覧照会 API)

API 名称	データ連結一覧照会 API				
処理概要	データ連結を一覧照会する。				
HTTP メソッド	GET				
リソース URL	/hds/api/v1/data_dictionaries/{data_dictionary_id} /drms				
利用可能ロール	一般ユーザ※1、管理ユーザ				
要求ヘッダ	Accept: application/json Authorization: Basic {basic-credentials}				
要求パラメータ	パラメータ名	型	必須	種別	説明
	data_dictionary_id	String	必須	パス	データ辞書 ID
応答ヘッダ	Content-Type: application/json				
応答パラメータ	パラメータ名	型	必須	種別	説明
	—	JsonObject	必須	ボディ	一覧照会されたデータ連結※ 2の配列

※1: 自ユーザが追加したデータ辞書に関連するデータにのみアクセス可。

ただし、共通データ辞書／共通サービス辞書に関するデータの場合はすべてのユーザがアクセス可。

※2: データ構造の詳細は「5.1.4 データ連結(DRM)」参照のこと。

3.3.4 変換マップ操作

辞書変換マップ(DTM)、または項目変換マップ(PTM)を操作する API 一覧を以下に示す。

表 3-20: API 一覧(変換マップ操作)

No.	名称	内容
1	変換マップ追加 API	辞書変換マップ、または項目変換マップを追加する。
2	変換マップ更新 API	辞書変換マップ、または項目変換マップを更新する。
3	変換マップ削除 API	辞書変換マップ、または項目変換マップを削除する。
4	変換マップ取得 API	辞書変換マップ、または項目変換マップを取得する。
5	変換マップ一覧照会 API	辞書変換マップ、または項目変換マップの一覧を照会する。

3.3.4.1 変換マップ追加 API

表 3-21: 変換マップ操作(変換マップ追加 API)

API 名称	変換マップ追加 API				
処理概要	変換マップを追加する。				
HTTP メソッド	POST				
リソース URL	/hds/api/v1/dtms				
利用可能ロール	一般ユーザ、管理ユーザ				
要求ヘッダ	Accept: application/json Content-Type: application/json Authorization: Basic {basic-credentials}				
要求パラメータ	パラメータ名	型	必須	種別	説明
	—	JsonObject	必須	ボディ	追加する変換マップ※1
応答ヘッダ	Content-Type: application/json				
応答パラメータ	パラメータ名	型	必須	種別	説明
	—	JsonObject	必須	ボディ	追加された変換マップ※1

※1: データ構造の詳細は「5.3 変換マップ」参照のこと。

3.3.4.2 変換マップ更新 API

表 3-22: 変換マップ操作(変換マップ更新 API)

API 名称	変換マップ更新 API				
処理概要	変換マップを更新する。				
HTTP メソッド	PUT				
リソース URL	/hds/api/v1/dtms/{dtm_id}				
利用可能ロール	一般ユーザ※1、管理ユーザ				
要求ヘッダ	Accept: application/json Content-Type: application/json Authorization: Basic {basic-credentials}				
要求パラメータ	パラメータ名	型	必須	種別	説明
	dtm_id	String	必須	パス	変換マップ ID
	—	JsonObject	必須	ボディ	更新する変換マップ※2
応答ヘッダ	Content-Type: application/json				
応答パラメータ	パラメータ名	型	必須	種別	説明
	—	JsonObject	必須	ボディ	更新された変換マップ※2

※1: 自ユーザが追加したデータにのみアクセス可。

※2: データ構造の詳細は「5.3 変換マップ」参照のこと。

3.3.4.3 変換マップ削除 API

表 3-23: 変換マップ操作(変換マップ削除 API)

API 名称	変換マップ削除 API				
処理概要	変換マップを削除する。				
HTTP メソッド	DELETE				
リソース URL	/hds/api/v1/dtms/{dtm_id}				
利用可能ロール	一般ユーザ※1、管理ユーザ				
要求ヘッダ	Accept: application/json Authorization: Basic {basic-credentials}				
要求パラメータ	パラメータ名	型	必須	種別	説明
	dtm_id	String	必須	パス	変換マップ ID
応答ヘッダ	なし				
応答パラメータ	パラメータ名	型	必須	種別	説明
	なし	—	—	—	—

※1: 自ユーザが追加したデータにのみアクセス可。

3.3.4.4 変換マップ取得 API

表 3-24: 変換マップ操作(変換マップ取得 API)

API 名称	変換マップ取得 API				
処理概要	変換マップを取得する。				
HTTP メソッド	GET				
リソース URL	/hds/api/v1/dtms/{dtm_id}				
利用可能ロール	一般ユーザ※1、管理ユーザ				
要求ヘッダ	Accept: application/json Authorization: Basic {basic-credentials}				
要求パラメータ	パラメータ名	型	必須	種別	説明
	dtm_id	String	必須	パス	変換マップ ID
応答ヘッダ	Content-Type: application/json				
応答パラメータ	パラメータ名	型	必須	種別	説明
	—	JsonObject	必須	ボディ	取得された変換マップ※2

※1: 自ユーザが追加したデータにのみアクセス可。

※2: データ構造の詳細は「5.3 変換マップ」参照のこと。

3.3.4.5 変換マップ一覧照会 API

表 3-25: 変換マップ操作(変換マップ一覧照会 API)

API 名称	変換マップ一覧照会 API				
処理概要	変換マップを一覧照会する。				
HTTP メソッド	GET				
リソース URL	/hds/api/v1/dtms				
利用可能ロール	一般ユーザ※1、管理ユーザ				
要求ヘッダ	Accept: application/json Authorization: Basic {basic-credentials}				
要求パラメータ	パラメータ名	型	必須	種別	説明
	なし	—	—	—	—
応答ヘッダ	Content-Type: application/json				
応答パラメータ	パラメータ名	型	必須	種別	説明
	—	JsonObject	必須	ボディ	一覧照会された変換マップ※ 2の配列

※1: 自ユーザが追加したデータにのみアクセス可。

※2: データ構造の詳細は「5.3 変換マップ」参照のこと。

3.3.5 サービス辞書操作

共通サービス辞書(SSD)、または個別サービス辞書(ASD)を操作する API 一覧を以下に示す。

表 3-26: API 一覧(サービス辞書操作)

No.	名称	内容
1	サービス辞書追加 API	共通サービス辞書、または個別サービス辞書を追加する。
2	サービス辞書更新 API	共通サービス辞書、または個別サービス辞書を更新する。
3	サービス辞書削除 API	共通サービス辞書、または個別サービス辞書を削除する。
4	サービス辞書取得 API	共通サービス辞書、または個別サービス辞書を取得する。
5	サービス辞書一覧照会 API	共通サービス辞書、または個別サービス辞書の一覧を照会する。

3.3.5.1 サービス辞書追加 API

表 3-27: サービス辞書操作(サービス辞書追加 API)

API 名称	サービス辞書追加 API				
処理概要	サービス辞書を追加する。				
HTTP メソッド	POST				
リソース URL	/hds/api/v1/service_dictionaries				
利用可能ロール	一般ユーザ、管理ユーザ				
要求ヘッダ	Accept: application/json Content-Type: application/json Authorization: Basic {basic-credentials}				
要求パラメータ	パラメータ名	型	必須	種別	説明
	—	JsonObject	必須	ボディ	追加するサービス辞書※1
応答ヘッダ	Content-Type: application/json				
応答パラメータ	パラメータ名	型	必須	種別	説明
	—	JsonObject	必須	ボディ	追加されたサービス辞書※1

※1: データ構造の詳細は「5.2.1 共通サービス辞書(SSD)・個別サービス辞書(ASD)」参照のこと。

3.3.5.2 サービス辞書更新 API

表 3-28: サービス辞書操作(サービス辞書更新 API)

API 名称	サービス辞書更新 API				
処理概要	サービス辞書を更新する。				
HTTP メソッド	PUT				
リソース URL	/hds/api/v1/service_dictionaries/{service_dictionary_id}				
利用可能ロール	一般ユーザ※1、管理ユーザ				
要求ヘッダ	Accept: application/json Content-Type: application/json Authorization: Basic {basic-credentials}				
要求パラメータ	パラメータ名	型	必須	種別	説明
	service_dictionary_id	String	必須	パス	サービス辞書 ID
	—	JsonObject	必須	ボディ	更新するサービス辞書※2
応答ヘッダ	Content-Type: application/json				
応答パラメータ	パラメータ名	型	必須	種別	説明
	—	JsonObject	必須	ボディ	更新されたサービス辞書※2

※1: 自ユーザが追加したデータにのみアクセス可。

※2: データ構造の詳細は「5.2.1 共通サービス辞書(SSD)・個別サービス辞書(ASD)」参照のこと。

3.3.5.3 サービス辞書削除 API

表 3-29: サービス辞書操作(サービス辞書削除 API)

API 名称	サービス辞書削除 API				
処理概要	サービス辞書を削除する。				
HTTP メソッド	DELETE				
リソース URL	/hds/api/v1/service_dictionaries/{service_dictionary_id}				
利用可能ロール	一般ユーザ※1、管理ユーザ				
要求ヘッダ	Accept: application/json Authorization: Basic {basic-credentials}				
要求パラメータ	パラメータ名	型	必須	種別	説明
	service_dictionary_id	String	必須	パス	サービス辞書 ID
応答ヘッダ	なし				
応答パラメータ	パラメータ名	型	必須	種別	説明
	なし	—	—	—	—

※1: 自ユーザが追加したデータにのみアクセス可。

3.3.5.4 サービス辞書取得 API

表 3-30: サービス辞書操作(サービス辞書取得 API)

API 名称	サービス辞書取得 API				
処理概要	サービス辞書を取得する。				
HTTP メソッド	GET				
リソース URL	/hds/api/v1/service_dictionaries/{service_dictionary_id}				
利用可能ロール	一般ユーザ※1、管理ユーザ				
要求ヘッダ	Accept: application/json Authorization: Basic {basic-credentials}				
要求パラメータ	パラメータ名	型	必須	種別	説明
	service_dictionary_id	String	必須	パス	サービス辞書 ID
応答ヘッダ	Content-Type: application/json				
応答パラメータ	パラメータ名	型	必須	種別	説明
	—	JsonObject	必須	ボディ	取得されたサービス辞書※2

※1: 自ユーザが追加したデータにのみアクセス可。一覧照会ではアクセス可のデータのみ取得可能。

ただし、共通データ辞書／共通サービス辞書の場合はすべてのユーザがアクセス可。

※2: データ構造の詳細は「5.2.1 共通サービス辞書(SSD)・個別サービス辞書(ASD)」参照のこと。

3.3.5.5 サービス辞書一覧照会 API

表 3-31: サービス辞書操作(サービス辞書一覧照会 API)

API 名称	サービス辞書一覧照会 API				
処理概要	サービス辞書を一覧照会する。				
HTTP メソッド	GET				
リソース URL	/hds/api/v1/service_dictionaries				
利用可能ロール	一般ユーザ※1(※2)、管理ユーザ				
要求ヘッダ	Accept: application/json Authorization: Basic {basic-credentials}				
要求パラメータ	パラメータ名	型	必須	種別	説明
	service_dictionary_type	String	必須	クエリ	取得するサービス辞書の区分。 ・個別サービス辞書: actual ・共通サービス辞書: specific
応答ヘッダ	Content-Type: application/json				
応答パラメータ	パラメータ名	型	必須	種別	説明
	—	JsonObject	必須	ボディ	一覧照会されたサービス辞書※2の配列

※1: 自ユーザが追加したデータにのみアクセス可。一覧照会ではアクセス可のデータのみ取得可能。

ただし、共通データ辞書／共通サービス辞書の場合はすべてのユーザがアクセス可。

※2: データ構造の詳細は「5.2.1 共通サービス辞書(SSD)・個別サービス辞書(ASD)」参照のこと。

3.3.6 プロセスモデル操作

プロセスモデル(PCM)を操作する API 一覧を以下に示す。

表 3-32: API 一覧(プロセスモデル操作)

No.	名称	内容
1	プロセスモデル追加 API	プロセスモデルを追加する。
2	プロセスモデル更新 API	プロセスモデルを更新する。
3	プロセスモデル削除 API	プロセスモデルを削除する。
4	プロセスモデル取得 API	プロセスモデルを取得する。
5	プロセスモデル一覧照会 API	プロセスモデルの一覧を照会する。

3.3.6.1 プロセスモデル追加 API

表 3-33: プロセスモデル操作(プロセスモデル追加 API)

API 名称	プロセスモデル追加 API				
処理概要	プロセスモデルを追加する。				
HTTP メソッド	POST				
リソース URL	/hds/api/v1/service_dictionaries/{service_dictionary_id}/pcms				
利用可能ロール	一般ユーザ※1、管理ユーザ				
要求ヘッダ	Accept: application/json Content-Type: application/json Authorization: Basic {basic-credentials}				
要求パラメータ	パラメータ名	型	必須	種別	説明
	service_dictionary_id	String	必須	パス	サービス辞書 ID
	—	JsonObject	必須	ボディ	追加するプロセスモデル※2
応答ヘッダ	Content-Type: application/json				
応答パラメータ	パラメータ名	型	必須	種別	説明
	—	JsonObject	必須	ボディ	追加されたプロセスモデル※2

※1: 自ユーザが追加したデータ辞書に関連するデータにのみアクセス可。

※2: データ構造の詳細は「5.2.2 プロセスモデル(PCM)」参照のこと。

3.3.6.2 プロセスモデル更新 API

表 3-34: プロセスモデル操作(プロセスモデル更新 API)

API 名称	プロセスモデル更新 API				
処理概要	プロセスモデルを更新する。				
HTTP メソッド	PUT				
リソース URL	/hds/api/v1/service_dictionaries/{service_dictionary_id}/pcms/{pcm_id}				
利用可能ロール	一般ユーザ※1、管理ユーザ				
要求ヘッダ	Accept: application/json Content-Type: application/json Authorization: Basic {basic-credentials}				
要求パラメータ	パラメータ名	型	必須	種別	説明
	service_dictionary_id	String	必須	パス	サービス辞書 ID
	pcm_id	String	必須	パス	プロセスモデル ID
	—	JsonObject	必須	ボディ	更新するプロセスモデル※2
応答ヘッダ	Content-Type: application/json				
応答パラメータ	パラメータ名	型	必須	種別	説明
	—	JsonObject	必須	ボディ	更新されたプロセスモデル※2

※1: 自ユーザが追加したデータ辞書に関連するデータにのみアクセス可。

※2: データ構造の詳細は「5.2.2 プロセスモデル(PCM)」参照のこと。

3.3.6.3 プロセスモデル削除 API

表 3-35: プロセスモデル操作(プロセスモデル削除 API)

API 名称	プロセスモデル削除 API				
処理概要	プロセスモデルを削除する。				
HTTP メソッド	DELETE				
リソース URL	/hds/api/v1/service_dictionaries/{service_dictionary_id}/pcms/{pcm_id}				
利用可能ロール	一般ユーザ※1、管理ユーザ				
要求ヘッダ	Accept: application/json Authorization: Basic {basic-credentials}				
要求パラメータ	パラメータ名	型	必須	種別	説明
	service_dictionary_id	String	必須	パス	サービス辞書 ID
	pcm_id	String	必須	パス	プロセスモデル ID
応答ヘッダ	なし				
応答パラメータ	パラメータ名	型	必須	種別	説明
	なし	—	—	—	—

※1: 自ユーザが追加したデータ辞書に関連するデータにのみアクセス可。

3.3.6.4 プロセスモデル取得 API

表 3-36: プロセスモデル操作(プロセスモデル取得 API)

API 名称	プロセスモデル取得 API				
処理概要	プロセスモデルを取得する。				
HTTP メソッド	GET				
リソース URL	/hds/api/v1/service_dictionaries/{service_dictionary_id}/pcms/{pcm_id}				
利用可能ロール	一般ユーザ※1、管理ユーザ				
要求ヘッダ	Accept: application/json Authorization: Basic {basic-credentials}				
要求パラメータ	パラメータ名	型	必須	種別	説明
	service_dictionary_id	String	必須	パス	サービス辞書 ID
	pcm_id	String	必須	パス	プロセスモデル ID
応答ヘッダ	Content-Type: application/json				
応答パラメータ	パラメータ名	型	必須	種別	説明
	—	JsonObject	必須	ボディ	取得されたプロセスモデル※ 2

※1: 自ユーザが追加したデータ辞書に関連するデータにのみアクセス可。

ただし、共通データ辞書／共通サービス辞書に関するデータの場合はすべてのユーザがアクセス可。

※2: データ構造の詳細は「5.2.2 プロセスモデル(PCM)」参照のこと。

3.3.6.5 プロセスモデル一覧照会 API

表 3-37: プロセスモデル操作(プロセスモデル一覧照会 API)

API 名称	プロセスモデル一覧照会 API				
処理概要	プロセスモデルを一覧照会する。				
HTTP メソッド	GET				
リソース URL	/hds/api/v1/service_dictionaries/{service_dictionary_id}/pcms				
利用可能ロール	一般ユーザ※1、管理ユーザ				
要求ヘッダ	Accept: application/json Authorization: Basic {basic-credentials}				
要求パラメータ	パラメータ名	型	必須	種別	説明
	service_dictionary_id	String	必須	パス	サービス辞書 ID
応答ヘッダ	Content-Type: application/json				
応答パラメータ	パラメータ名	型	必須	種別	説明
	—	JsonObject	必須	ボディ	一覧照会されたプロセスモデル※2の配列

※1: 自ユーザが追加したデータ辞書に関連するデータにのみアクセス可。

ただし、共通データ辞書／共通サービス辞書に関するデータの場合はすべてのユーザがアクセス可。

※2: データ構造の詳細は「5.2.2 プロセスモデル(PCM)」参照のこと。

3.3.7 イベントモデル操作

イベントモデル(ECM)を操作する API 一覧を以下に示す。

表 3-38: API 一覧(イベントモデル操作)

No.	名称	内容
1	イベントモデル追加 API	イベントモデルを追加する。
2	イベントモデル更新 API	イベントモデルを更新する。
3	イベントモデル削除 API	イベントモデルを削除する。
4	イベントモデル取得 API	イベントモデルを取得する。
5	イベントモデル一覧照会 API	イベントモデルの一覧を照会する。

3.3.7.1 イベントモデル追加 API

表 3-39: イベントモデル操作(イベントモデル追加 API)

API 名称	イベントモデル追加 API				
処理概要	イベントモデルを追加する。				
HTTP メソッド	POST				
リソース URL	/hds/api/v1/service_dictionaries/{service_dictionary_id}/ecms				
利用可能ロール	一般ユーザ※1、管理ユーザ				
要求ヘッダ	Accept: application/json Content-Type: application/json Authorization: Basic {basic-credentials}				
要求パラメータ	パラメータ名	型	必須	種別	説明
	service_dictionary_id	String	必須	パス	サービス辞書 ID
	—	JsonObject	必須	ボディ	追加するイベントモデル※2
応答ヘッダ	Content-Type: application/json				
応答パラメータ	パラメータ名	型	必須	種別	説明
	—	JsonObject	必須	ボディ	追加されたイベントモデル※2

※1: 自ユーザが追加したデータ辞書に関連するデータにのみアクセス可。

※2: データ構造の詳細は「5.2.3 イベントモデル(ECM)」参照のこと。

3.3.7.2 イベントモデル更新 API

表 3-40: イベントモデル操作(イベントモデル更新 API)

API 名称	イベントモデル更新 API				
処理概要	イベントモデルを更新する。				
HTTP メソッド	PUT				
リソース URL	/hds/api/v1/service_dictionaries/{service_dictionary_id}/ecms/{ecm_id}				
利用可能ロール	一般ユーザ※1、管理ユーザ				
要求ヘッダ	Accept: application/json Content-Type: application/json Authorization: Basic {basic-credentials}				
要求パラメータ	パラメータ名	型	必須	種別	説明
	service_dictionary_id	String	必須	パス	サービス辞書 ID
	ecm_id	String	必須	パス	イベントモデル ID
	—	JsonObject	必須	ボディ	更新するイベントモデル※2
応答ヘッダ	Content-Type: application/json				
応答パラメータ	パラメータ名	型	必須	種別	説明
	—	JsonObject	必須	ボディ	更新されたイベントモデル※2

※1: 自ユーザが追加したデータ辞書に関連するデータにのみアクセス可。

※2: データ構造の詳細は「5.2.3 イベントモデル(ECM)」参照のこと。

3.3.7.3 イベントモデル削除 API

表 3-41: イベントモデル操作(イベントモデル削除 API)

API 名称	イベントモデル削除 API				
処理概要	イベントモデルを削除する。				
HTTP メソッド	DELETE				
リソース URL	/hds/api/v1/service_dictionaries/{service_dictionary_id}/ecms/{ecm_id}				
利用可能ロール	一般ユーザ※1、管理ユーザ				
要求ヘッダ	Accept: application/json Authorization: Basic {basic-credentials}				
要求パラメータ	パラメータ名	型	必須	種別	説明
	service_dictionary_id	String	必須	パス	サービス辞書 ID
	ecm_id	String	必須	パス	イベントモデル ID
応答ヘッダ	なし				
応答パラメータ	パラメータ名	型	必須	種別	説明
	なし	—	—	—	—

※1: 自ユーザが追加したデータ辞書に関連するデータにのみアクセス可。

3.3.7.4 イベントモデル取得 API

表 3-42: イベントモデル操作(イベントモデル取得 API)

API 名称	イベントモデル取得 API				
処理概要	イベントモデルを取得する。				
HTTP メソッド	GET				
リソース URL	/hds/api/v1/service_dictionaries/{service_dictionary_id}/ecms/{ecm_id}				
利用可能ロール	一般ユーザ※1、管理ユーザ				
要求ヘッダ	Accept: application/json Authorization: Basic {basic-credentials}				
要求パラメータ	パラメータ名	型	必須	種別	説明
	service_dictionary_id	String	必須	パス	サービス辞書 ID
	ecm_id	String	必須	パス	イベントモデル ID
応答ヘッダ	Content-Type: application/json				
応答パラメータ	パラメータ名	型	必須	種別	説明
	—	JsonObject	必須	ボディ	取得されたイベントモデル※ 2

※1: 自ユーザが追加したデータ辞書に関連するデータにのみアクセス可。

ただし、共通データ辞書／共通サービス辞書に関するデータの場合はすべてのユーザがアクセス可。

※2: データ構造の詳細は「5.2.3 イベントモデル(ECM)」参照のこと。

3.3.7.5 イベントモデル一覧照会 API

表 3-43: イベントモデル操作(イベントモデル一覧照会 API)

API 名称	イベントモデル一覧照会 API				
処理概要	イベントモデルを一覧照会する。				
HTTP メソッド	GET				
リソース URL	/hds/api/v1/service_dictionaries/{service_dictionary_id}/ecms				
利用可能ロール	一般ユーザ※1、管理ユーザ				
要求ヘッダ	Accept: application/json Authorization: Basic {basic-credentials}				
要求パラメータ	パラメータ名	型	必須	種別	説明
	service_dictionary_id	String	必須	パス	サービス辞書 ID
応答ヘッダ	Content-Type: application/json				
応答パラメータ	パラメータ名	型	必須	種別	説明
	—	JsonObject	必須	ボディ	一覧照会されたイベントモデル※2の配列

※1: 自ユーザが追加したデータ辞書に関連するデータにのみアクセス可。

ただし、共通データ辞書／共通サービス辞書に関するデータの場合はすべてのユーザがアクセス可。

※2: データ構造の詳細は「5.2.3 イベントモデル(ECM)」参照のこと。

3.3.8 カテゴリ辞書操作

カテゴリ辞書(SCD)を操作する API 一覧を以下に示す。

表 3-44: API 一覧(カテゴリ辞書操作)

No.	名称	内容
1	カテゴリ辞書追加 API	カテゴリ辞書を追加する。
2	カテゴリ辞書更新 API	カテゴリ辞書を更新する。
3	カテゴリ辞書削除 API	カテゴリ辞書を削除する。
4	カテゴリ辞書取得 API	カテゴリ辞書を取得する。
5	カテゴリ辞書一覧照会 API	カテゴリ辞書の一覧を照会する。

3.3.8.1 カテゴリ辞書追加 API

表 3-45: カテゴリ辞書操作(カテゴリ辞書追加 API)

API 名称	カテゴリ辞書追加 API				
処理概要	カテゴリ辞書を追加する。				
HTTP メソッド	POST				
リソース URL	/hds/api/v1/scds				
利用可能ロール	管理ユーザ				
要求ヘッダ	Accept: application/json Content-Type: application/json Authorization: Basic {basic-credentials}				
要求パラメータ	パラメータ名	型	必須	種別	説明
	—	JsonObject	必須	ボディ	追加するカテゴリ辞書※1
応答ヘッダ	Content-Type: application/json				
応答パラメータ	パラメータ名	型	必須	種別	説明
	—	JsonObject	必須	ボディ	追加されたカテゴリ辞書※1

※1: データ構造の詳細は「5.4.1 カテゴリ辞書(SCD)」参照のこと。

3.3.8.2 カテゴリ辞書更新 API

表 3-46: カテゴリ辞書操作(カテゴリ辞書更新 API)

API 名称	カテゴリ辞書更新 API				
処理概要	カテゴリ辞書を更新する。				
HTTP メソッド	PUT				
リソース URL	/hds/api/v1/scds/{scd_id}				
利用可能ロール	管理ユーザ				
要求ヘッダ	Accept: application/json Content-Type: application/json Authorization: Basic {basic-credentials}				
要求パラメータ	パラメータ名	型	必須	種別	説明
	scd_id	String	必須	パス	カテゴリ辞書 ID
	—	JsonObject	必須	ボディ	更新するカテゴリ辞書※1
応答ヘッダ	Content-Type: application/json				
応答パラメータ	パラメータ名	型	必須	種別	説明
	—	JsonObject	必須	ボディ	更新されたカテゴリ辞書※1

※1: データ構造の詳細は「5.4.1 カテゴリ辞書(SCD)」参照のこと。

3.3.8.3 カテゴリ辞書削除 API

表 3-47: カテゴリ辞書操作(カテゴリ辞書削除 API)

API 名称	カテゴリ辞書削除 API				
処理概要	カテゴリ辞書を削除する。				
HTTP メソッド	DELETE				
リソース URL	/hds/api/v1/scds/{scd_id}				
利用可能ロール	管理ユーザ				
要求ヘッダ	Accept: application/json Authorization: Basic {basic-credentials}				
要求パラメータ	パラメータ名	型	必須	種別	説明
	scd_id	String	必須	パス	カテゴリ辞書 ID
応答ヘッダ	なし				
応答パラメータ	パラメータ名	型	必須	種別	説明
	なし	—	—	—	—

3.3.8.4 カテゴリ辞書取得 API

表 3-48: カテゴリ辞書操作(カテゴリ辞書取得 API)

API 名称	カテゴリ辞書取得 API				
処理概要	カテゴリ辞書を取得する。				
HTTP メソッド	GET				
リソース URL	/hds/api/v1/scds/{scd_id}				
利用可能ロール	一般ユーザ、管理ユーザ				
要求ヘッダ	Accept: application/json Authorization: Basic {basic-credentials}				
要求パラメータ	パラメータ名	型	必須	種別	説明
	scd_id	String	必須	パス	カテゴリ辞書 ID
応答ヘッダ	Content-Type: application/json				
応答パラメータ	パラメータ名	型	必須	種別	説明
	—	JsonObject	必須	ボディ	取得するカテゴリ辞書※1

※1: データ構造の詳細は「5.4.1 カテゴリ辞書(SCD)」参照のこと。

3.3.8.5 カテゴリ辞書一覧照会 API

表 3-49: カテゴリ辞書操作(カテゴリ辞書一覧照会 API)

API 名称	カテゴリ辞書一覧照会 API				
処理概要	カテゴリ辞書を一覧照会する。				
HTTP メソッド	GET				
リソース URL	/hds/api/v1/scds				
利用可能ロール	一般ユーザ、管理ユーザ				
要求ヘッダ	Accept: application/json Authorization: Basic {basic-credentials}				
要求パラメータ	パラメータ名	型	必須	種別	説明
	なし	—	—	—	—
応答ヘッダ	Content-Type: application/json				
応答パラメータ	パラメータ名	型	必須	種別	説明
	—	JsonObject	必須	ボディ	一覧照会するカテゴリ辞書の配列 ^{※1}

※1: データ構造の詳細は「5.4.1 カテゴリ辞書(SCD)」参照のこと。

3.3.9 カテゴリ操作

データカテゴリ (DCC)、またはプロセスカテゴリ (PCC)、またはイベントカテゴリ (ECC) を操作する API 一覧を以下に示す。

表 3-50: API 一覧(カテゴリ辞書操作)

No.	名称	内容
1	カテゴリ追加 API	データカテゴリ、またはプロセスカテゴリ、またはイベントカテゴリを追加する。
2	カテゴリ更新 API	データカテゴリ、またはプロセスカテゴリ、またはイベントカテゴリを更新する。
3	カテゴリ削除 API	データカテゴリ、またはプロセスカテゴリ、またはイベントカテゴリを削除する。
4	カテゴリ取得 API	データカテゴリ、またはプロセスカテゴリ、またはイベントカテゴリを取得する。
5	カテゴリ一覧照会 API	データカテゴリ、またはプロセスカテゴリ、またはイベントカテゴリの一覧を照会する。

3.3.9.1 カテゴリ追加 API

表 3-51: カテゴリ操作(カテゴリ追加 API)

API 名称	カテゴリ追加 API				
処理概要	カテゴリを追加する。				
HTTP メソッド	POST				
リソース URL	/hds/api/v1/scds/{scd_id}/component_categories				
利用可能ロール	管理ユーザ				
要求ヘッダ	Accept: application/json Content-Type: application/json Authorization: Basic {basic-credentials}				
要求パラメータ	パラメータ名	型	必須	種別	説明
	scd_id	String	必須	パス	カテゴリ辞書 ID
	—	JsonObject	必須	ボディ	追加するカテゴリ※1
応答ヘッダ	Content-Type: application/json				
応答パラメータ	パラメータ名	型	必須	種別	説明
	—	JsonObject	必須	ボディ	追加されたカテゴリ※1

※1: データ構造の詳細は「5.4.2 データカテゴリ(DCC)・プロセスカテゴリ(PCC)・イベントカテゴリ(ECC)」参照のこと。

3.3.9.2 カテゴリ更新 API

表 3-52: カテゴリ操作(カテゴリ更新 API)

API 名称	カテゴリ更新 API				
処理概要	カテゴリを更新する。				
HTTP メソッド	PUT				
リソース URL	/hds/api/v1/scds/{scd_id}/component_categories/{component_category_id}				
利用可能ロール	管理ユーザ				
要求ヘッダ	Accept: application/json Content-Type: application/json Authorization: Basic {basic-credentials}				
要求パラメータ	パラメータ名	型	必須	種別	説明
	scd_id	String	必須	パス	カテゴリ辞書 ID
	component_category_id	String	必須	パス	カテゴリ ID
	—	JsonObject	必須	ボディ	更新するカテゴリ※1
応答ヘッダ	Content-Type: application/json				
応答パラメータ	パラメータ名	型	必須	種別	説明
	—	JsonObject	必須	ボディ	更新されたカテゴリ※1

※1: データ構造の詳細は「5.4.2 データカテゴリ(DCC)・プロセスカテゴリ(PCC)・イベントカテゴリ(ECC)」参照のこと。

3.3.9.3 カテゴリ削除 API

表 3-53: カテゴリ操作(カテゴリ削除 API)

API 名称	カテゴリ削除 API				
処理概要	カテゴリを削除する。				
HTTP メソッド	DELETE				
リソース URL	/hds/api/v1/scds/{scd_id}/component_categories/{component_category_id}				
利用可能ロール	管理ユーザ				
要求ヘッダ	Accept: application/json Authorization: Basic {basic-credentials}				
要求パラメータ	パラメータ名	型	必須	種別	説明
	scd_id	String	必須	パス	カテゴリ辞書 ID
	component_category_id	String	必須	パス	カテゴリ ID
応答ヘッダ	なし				
応答パラメータ	パラメータ名	型	必須	種別	説明
	なし	—	—	—	—

3.3.9.4 カテゴリ取得 API

表 3-54: カテゴリ操作(カテゴリ取得 API)

API 名称	カテゴリ取得 API				
処理概要	カテゴリを取得する。				
HTTP メソッド	GET				
リソース URL	/hds/api/v1/scds/{scd_id}/component_categories/{component_category_id}				
利用可能ロール	一般ユーザ、管理ユーザ				
要求ヘッダ	Accept: application/json Authorization: Basic {basic-credentials}				
要求パラメータ	パラメータ名	型	必須	種別	説明
	scd_id	String	必須	パス	カテゴリ辞書 ID
	component_category_id	String	必須	パス	カテゴリ ID
応答ヘッダ	Content-Type: application/json				
応答パラメータ	パラメータ名	型	必須	種別	説明
	—	JsonObject	必須	ボディ	取得されたカテゴリ※1

※1: データ構造の詳細は「5.4.2 データカテゴリ(DCC)・プロセスカテゴリ(PCC)・イベントカテゴリ(ECC)」参照のこと。

3.3.9.5 カテゴリー一覧照会 API

表 3-55: カテゴリー操作(カテゴリー一覧照会 API)

API 名称	カテゴリー一覧照会 API				
処理概要	カテゴリーを一覧照会する。				
HTTP メソッド	GET				
リソース URL	/hds/api/v1/scds/{scd_id}/component_categories				
利用可能ロール	一般ユーザ、管理ユーザ				
要求ヘッダ	Accept: application/json Authorization: Basic {basic-credentials}				
要求パラメータ	パラメータ名	型	必須	種別	説明
	scd_id	String	必須	パス	カテゴリー辞書 ID
	component_category_type	String	任意	クエリ	取得するカテゴリーの区分 ・データカテゴリ: data ・プロセスカテゴリ: process ・イベントカテゴリ: event
応答ヘッダ	Content-Type: application/json				
応答パラメータ	パラメータ名	型	必須	種別	説明
	—	JsonObject	必須	ボディ	一覧照会されたカテゴリーの配列 ^{※1}

※1: データ構造の詳細は「5.4.2 データカテゴリ (DCC) ・プロセスカテゴリ (PCC) ・イベントカテゴリ (ECC)」参照のこと

4. HCM 機能仕様

本章では、HCM の機能仕様について示す。

4.1 機能概要

HCM は、異なるサイト間で、ECU や EAU が連携する場合に、データ流通の内容や利用方法、辞書の利用や変換方式などを設定するための UI を提供する。

4.2 画面一覧

HCM が提供する画面の一覧を以下に示す(表 4-1)。

表 4-1: HCM が提供する画面一覧

No.	画面名	概要
1	基本機能	ログイン画面
2		メニュー画面
3	取引契約機能	取引契約登録(プッシュ型)画面
4		取引契約登録(プル型)画面
5		取引契約一覧画面
6		取引契約詳細画面
7		マッピング画面
8		取引契約プロファイル画面
9		取引データプロファイル画面
10		取引サービスプロファイル画面
11		サンプルデータ画面

4.3 画面遷移

HCM の画面遷移は別紙 2 を参照のこと。

4.4 画面レイアウト仕様

本節では、HCM の各画面のレイアウト仕様を記す。なお、自サイトの役割区分によって仕様が異なる項目に関しては、自サイトが提供者の場合（「[提供者]:」と表記）と、自サイトが利用者の場合（「[利用者]:」と表記）に分けて記載する。

4.4.1 ログイン画面

4.4.1.1 画面レイアウト

図 4-1: ログイン画面レイアウト

4.4.1.2 項目一覧

表 4-2: ログイン画面項目一覧

No.	ラベル／名称	種類	説明
1	ユーザ ID	テキストボックス	ユーザ ID を入力する。
2	パスワード	テキストボックス	パスワードを入力する。画面上はマスク表示される。
3	ログイン	ボタン	入力されたユーザ ID とパスワードで認証を行う。認証が成功すると、「メニュー画面」に遷移する。失敗の場合は、メッセージを表示して終了する。
4	キャンセル	ボタン	「ログイン」画面を終了する。

4.4.2 メニュー画面

4.4.2.1 画面レイアウト

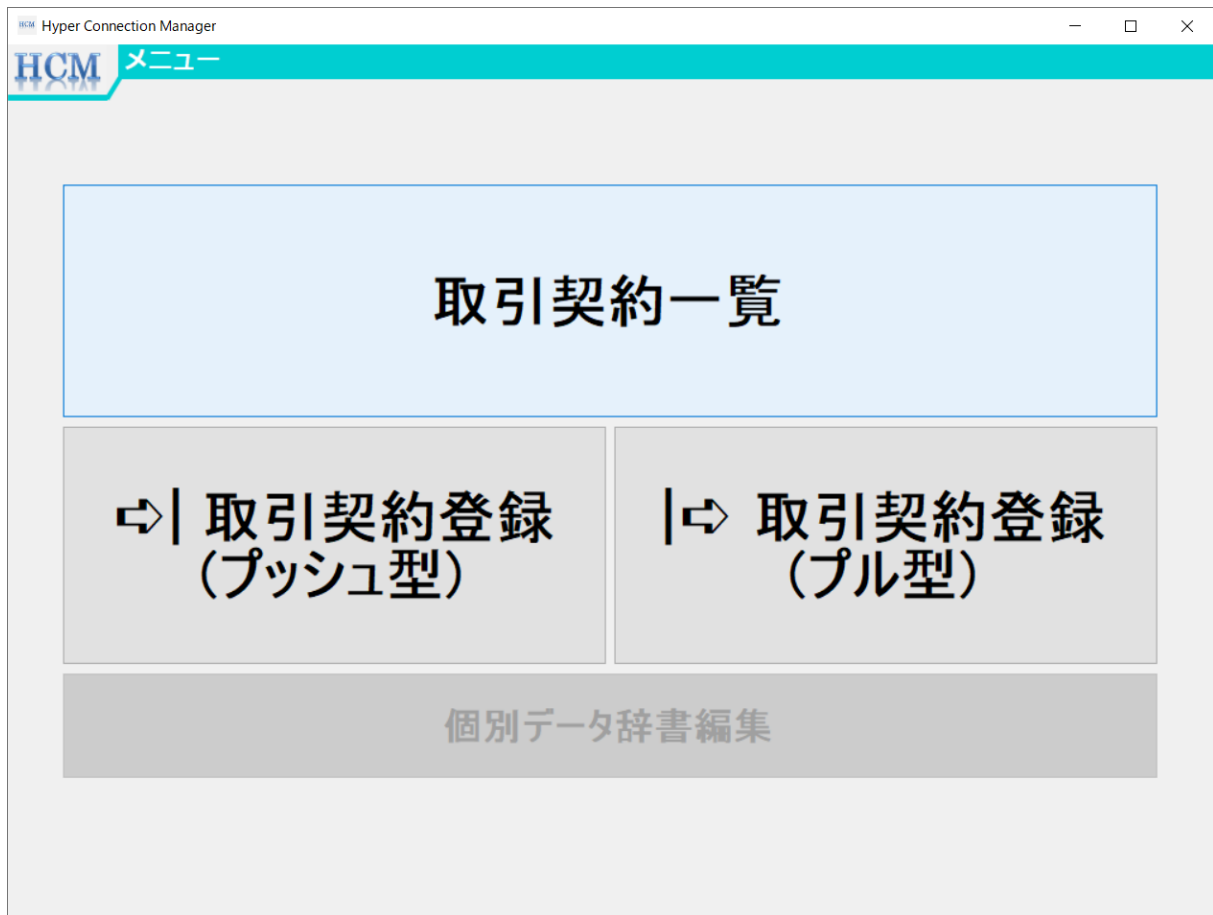


図 4-2: メニュー画面レイアウト

4.4.2.2 項目一覧

表 4-3: メニュー画面項目一覧

No.	ラベル／名称	種類	説明
1	取引契約一覧	ボタン	「取引契約一覧」画面に遷移する。
2	取引契約登録(プッシュ型)	ボタン	「取引契約登録(プッシュ型)」画面に遷移する。
3	取引契約登録(プル型)	ボタン	「取引契約登録(プル型)」画面に遷移する。
4	個別データ辞書登録	ボタン	常時非活性(本バージョンでは利用不可)。

4.4.3 取引契約登録(プッシュ型)画面

4.4.3.1 画面レイアウト

HCM Hyper Connection Manager

取引契約登録(プッシュ型)

①役割区分の選択
☒ 提供者 ☐ 利用者

②個別データ辞書の選択

ID	名称	説明
41004085a8e6eb73af...	サイトB(HKE)個別辞書	サイトB(HKE)の個別辞書

③データモデル(DCM)の選択

ID	名称	説明
41007cb9a5b8eadb1...	設備	設備を管理するデータモデル

④データモデル(DCM)の内容確認

データモデル名	項目名	データ型	データ例
設備	設備点検指示	string	
設備	設備種別	string	
設備	設備ID	string	
設備	設備名	string	
設備	図面番号	string	
設備	点検部位	string	
設備	点検方法	string	
設備	治具番号	string	
設備	点検項目	string	
設備	点検結果	string	
設備	点検結果単位	string	

⑤共通サービス辞書の選択

ID	名称	説明
4000245189bf89f17...	共通サービス辞書	共通サービス辞書の説明
4000245189bf81e947...	共通サービス辞書	共通サービス辞書の説明
4000245189bf742bab...	共通サービス辞書	共通サービス辞書の説明

⑥プロセスカテゴリ(PCC)の選択

ID	名称	説明
4000ec8c804bc326aa...	設備プロセス	設備プロセスに関連するプロセスカテゴリ

⑦プロセスモデル(PCM)の内容確認

ID	名称	説明
40002dff88e65b44a8...	プロセスモデル名	プロセスモデルの説明

次へ 戻る

図 4-3: 取引契約登録(プッシュ型)画面レイアウト

4.4.3.2 項目一覧

表 4-4: 取引契約登録(プッシュ型)画面項目一覧

No.	ラベル／名称	種類	説明
	①役割区分の選択	ラジオボタン	登録する取引契約における自サイトの役割区分を設定する。 選択肢と初期表示の選択項目は以下の通り。 ・ 提供者(初期表示) ・ 利用者 選択内容は、TDP の「dcm_class」に反映される。
	②個別データ辞書の選択	－	自サイトの ADD を一覧表示し、利用する ADD を設定する。 選択内容は、TSP の「data_dictionary_id」に反映される。
	ID	ラベル	ADD の ID(data_dictionary_id)を表示する。
	名称	ラベル	ADD の名称(data_dictionary_name)を表示する。
	説明	ラベル	ADD の説明(data_dictionary_description)を表示する。

No.	ラベル／名称	種類	説明
	③データモデル(DCM)の選択	—	No.2 で選択された辞書に含まれる DCM を一覧表示し、利用する DCM を設定する。 選択内容は、TSP の「dcm_id」および「dcm_name」に反映される。
	ID	ラベル	DCM の ID(dcm_id)を表示する。
	名称	ラベル	DCM の名称(dcm_name)を表示する。
	説明	ラベル	DCM の説明(dcm_description)を表示する。
	④データモデル(DCM)の内容確認	—	No.6で選択された DCM に含まれる DPD を一覧表示する。No.6 で選択された DCM に、連結 DCM が存在する場合はその DCM/DPD も表示する。
	データモデル名	ラベル	DCM の名称(dcm_name)を表示する。
	項目名	ラベル	DPD の名称(dpd_name)を表示する。
	データ型	ラベル	DPD のデータ型(dpd_type)を表示する。
	データ例	ラベル	DPD のサンプル(sample_value)を表示する。
	⑤共通サービス辞書の選択	—	自サイトが利用可能な SSD を一覧表示し、利用する SSD を設定する。
	ID	ラベル	SSD の ID(service_dictionary_id)を表示する。
	名称	ラベル	SSD の名称(service_dictionary_name)を表示する。
	説明	ラベル	SSD の説明(service_dictionary_description)を表示する。
	⑥プロセスカテゴリ(PCC)の選択	—	No.15 で選択された SSD の PCC を一覧表示し、利用する PCC を設定する。
	ID	ラベル	PCC の ID(component_category_id)を表示する。
	名称	ラベル	PCC の名称(component_category_name)を表示する。
	説明	ラベル	PCC の説明(component_category_description)を表示する。
	⑦プロセスモデル(PCM)の内容確認	—	No.19 で選択された PCC に含まれる PCM を一覧表示する。
	ID	ラベル	PCM の ID(pcm_id)を表示する。
	名称	ラベル	PCM の名称(pcm_name)を表示する。
	説明	ラベル	PCM の説明(pcm_description)を表示する。
	次へ	ボタン	次の画面に遷移する。No.1 の選択内容により遷移先は異なる。No.1 の選択内容と遷移先は以下の通り。 ・ 提供者：「マッピング」画面 ・ 利用者：「取引契約一覧」画面 No.6 が選択されていない場合には、一覧表の 1 行目が選択されているものとみなす。ただし、No.2 において、DCM を含まない ADD が選択されている場合には、エラーメッセージを表示する(画面遷移しない)。
	戻る	ボタン	「メニュー」画面に遷移する。

4.4.4 取引契約登録(プル型)画面

4.4.4.1 画面レイアウト

図 4-4: 取引契約登録(プル型)画面レイアウト

4.4.4.2 項目一覧

表 4-5: 取引契約登録(プル型)画面項目一覧

No.	ラベル／名称	種類	説明
	①役割区分の選択	ラジオボタン	登録する取引契約における役割区分を設定する。 選択肢と初期表示の選択項目以下の通り。 ・ 提供者 ・ 利用者(初期表示) なお、非活性項目のため「提供者」の選択不可。 選択内容は TDP の「dcm_class」に反映される。
	②個別データ辞書の選択	－	自サイトの ADD を一覧表示し、利用する ADD を設定する。 選択内容は、TSP の「data_dictionary_id」に反映される。
	ID	ラベル	ADD の ID(data_dictionary_id)を表示する。
	名称	ラベル	ADD の名称(data_dictionary_name)を表示する。
	説明	ラベル	ADD の説明(data_dictionary_description)を表示する。

No.	ラベル／名称	種類	説明
	③データモデル(DCM)の選択	—	No.2 で選択された辞書に含まれる DCM を一覧表示し、利用する DCM を設定する。 選択内容は、TSP の「dcm_id」および「dcm_name」に反映される。
	ID	ラベル	DCM の ID(dcm_id)を表示する。
	名称	ラベル	DCM の名称(dcm_name)を表示する。
	説明	ラベル	DCM の説明(dcm_description)を表示する。
	④データモデル(DCM)の内容確認	—	No.6で選択された DCM に含まれる DPD を一覧表示する。No.6 で選択された DCM に、連結 DCM が存在する場合はその DCM/DPD も表示する。
	データモデル名	ラベル	DCM の名称(dcm_name)を表示する。
	項目名	ラベル	DPD の名称(dpd_name)を表示する。
	データ型	ラベル	DPD のデータ型(dpd_type)を表示する。
	データ例	ラベル	DPD のサンプル(sample_value)を表示する。
	⑤共通サービス辞書の選択	—	自サイトが利用可能な SSD を一覧表示し、利用する SSD を設定する。
	ID	ラベル	SSD の ID(service_dictionary_id)を表示する。
	名称	ラベル	SSD の名称(service_dictionary_name)を表示する。
	説明	ラベル	SSD の説明(service_dictionary_description)を表示する。
	⑥プロセスカテゴリ(PCC)の選択	—	No.15 で選択された SSD の PCC を一覧表示し、利用する PCC を設定する。
	ID	ラベル	PCC の ID(component_category_id)を表示する。
	名称	ラベル	PCC の名称(component_category_name)を表示する。
	説明	ラベル	PCC の説明(component_category_description)を表示する。
	⑦プロセスカテゴリ(PCC)の内容確認	—	No.19 で選択された PCC に含まれる PCM を一覧表示する。
	ID	ラベル	PCM の ID(pcm_id)を表示する。
	名称	ラベル	PCM の名称(pcm_name)を表示する。
	説明	ラベル	PCM の説明(pcm_description)を表示する。
	次へ	ボタン	「マッピング」画面に遷移する。 No.6 が選択されていない場合には、一覧表の 1 行目が選択されているものとみなす。ただし、No.2 において、DCM を含まない ADD が選択されている場合には、エラーメッセージを表示する(画面遷移しない)。
	戻る	ボタン	「メニュー」画面に遷移する。

4.4.5 取引契約一覧画面

4.4.5.1 画面レイアウト

「取引契約一覧」画面は、当該画面に遷移する手順の違いにより表示内容が異なる。当該画面に遷移する手順を以下に記す。

- ① 「メニュー」画面において「取引契約一覧」ボタンをクリックする。

- ② 「取引契約登録(プッシュ型)」画面において、「①役割区分の選択」で「利用者」を選択し、「次へ」ボタンをクリックする。

手順①の場合には、自サイトが公開する利用可能な取引契約と、他サイトとの取引契約を一覧表示する。絞り込み検索では、「役割区分」「処理ステータス」「更新日付」による絞り込みができる。

手順②の場合には、他サイトが公開する利用可能な取引契約だけを一覧表示する。絞り込み検索では、「公開日」による絞り込みができる。

HCM Hyper Connection Manager

HCM 取引契約一覧

絞り込み検索

役割区分: ☒ 利用 ☒ 提供

処理ステータス: ☒ 全て ☒ 公開中 ☒ 新規 ☒ 仮登録済 ☒ 編集集中 ☒ 申請中 ☒ 承諾済

☒ 取引中 ☒ 申請受信 ☒ 申請処理中 ☒ 削除 ☒ 差異し ☒ エラー

更新日付: ~

No.	取引契約ID	役割	処理ステータス	更新日時	名称	メモ
1	200000061000000000000000000000000000060	提供	承諾済	2019/01/08 16:30:51		
2	20000006100000000000000000000000000005e	提供	申請処理中	2019/01/08 13:01:13		
3	200000062000000000000000000000000000092	利用	申請中	2019/01/08 11:00:56		
4	200000000000000000000000000000000000054	提供	取引中	2018/12/27 15:07:35		
5	20000006100000000000000000000000000005c	提供	取引中	2018/12/27 10:35:46		
6	20000006100000000000000000000000000005b	提供	取引中	2018/12/26 13:14:14		
7	20000006100000000000000000000000000005a	提供	取引中	2018/12/26 10:43:08		
8	200000061000000000000000000000000000059	提供	取引中	2018/12/25 20:07:42		
9	200000061000000000000000000000000000058	提供	取引中	2018/12/25 18:36:12		
10	20000006200000000000000000000000000008b	利用	取引中	2018/12/25 13:30:11		
11	200000061000000000000000000000000000057	提供	取引中	2018/12/25 13:29:34		
12	20000000000000000000000000000000000008a	利用	取引中	2018/12/20 14:58:15		
13	200000000000000000000000000000000000089	利用	取引中	2018/12/19 10:24:23		
14	200000000000000000000000000000000000055	提供	取引中	2018/12/17 10:22:43		
15	200000000000000000000000000000000000088	提供	公開中	2018/12/17 10:16:18		
16	200000000000000000000000000000000000053	提供	取引中	2018/12/17 10:04:35		
17	200000000000000000000000000000000000051	提供	取引中	2018/12/14 10:20:22		

戻る

図 4-5: 取引契約一覧画面レイアウト(手順①の場合)

HCM Hyper Connection Manager

取引契約一覧

絞り込み検索

公開日: ~

▶利用可能な取引契約一覧						
No	取引契約ID	役割	処理ステータス	公開日 ▼	名称	メモ
1	200000061000000000000000000000005f	利用	利用可能	2019/01/08		
2	2000000000000000000000000000000043	利用	利用可能	2018/12/13		

図 4-6: 取引契約一覧画面レイアウト(手順②の場合の「絞り込み検索」の表示例)

4.4.5.2 項目一覧

表 4-6: 取引契約一覧画面項目一覧

No.	ラベル／名称	種類	説明
	絞り込み検索	ラベル	No.9 の一覧表に表示する内容を絞り込む。表示する取引契約に該当する項目にチェックを付け、日付を指定する。
	役割区分	チェックボックス	役割区分による絞り込み条件を設定する。 選択肢は以下の通り。 ・ 利用 ・ 提供 初期表示では、すべてチェックされている。
	処理ステータス	チェックボックス	処理ステータスによる絞り込み条件を設定する。 選択肢は以下 ・ 全て ・ 公開中 ・ 新規 ・ 仮登録 ・ 編集中 ・ 申請中 ・ 承諾済 ・ 取引中 ・ 申請受信 ・ 申請処理中 ・ 削除 ・ 差戻し ・ エラー 初期表示では、すべてチェックされている。
	更新日付(左)	日付コントロール	更新日付による絞り込み条件の開始日を設定する。 初期表示では、現在日付の 3 ヶ月前の日付が設定されている。
	更新日付(右)	日付コントロール	更新日付による絞り込み条件の終了日を設定する。 初期表示では、現在日付が設定されている。
	公開日(左)	日付コントロール	公開された利用可能な取引契約の公開日付による絞り込み条件の開始日を設定する。 初期表示では、現在日付の 3 ヶ月前の日付が設定されている。
	公開日(右)	日付コントロール	公開された利用可能な取引契約の公開日付による絞り込み条件の終了日を設定する。 初期表示では、現在日付が設定されている。
	検索	ボタン	初期表示時に No.9 に一覧表示されている内容のうち、No.2～7 で指定した条件に該当する取引契約を No.9 に一覧表示する。 ボタンクリック時には、表示内容(処理ステータスなど)は更新されない。

No.	ラベル／名称	種類	説明
	取引契約一覧	—	No.2～7 に指定した絞り込み条件に該当する取引契約を一覧表示し、各種操作の対象とする取引契約を選択する。 なお、「取引契約登録(プッシュ型)」画面から遷移した場合は、ラベルが「利用可能な取引契約一覧」と表示される。
	No.	ラベル	一覧表の項番を表示する。
	取引契約 ID	リンク	TCP の ID(tcp_id)を表示する。 表示される ID はリンクになっており、クリックすると「取引契約詳細」画面に遷移する。
	役割	ラベル	TDP の区分(dcm_class)を表示する
	処理ステータス	ラベル	取引契約の処理ステータスを表示する。
	更新日時	ラベル	取引契約の更新日時を表示する。
	名称	ラベル	TCP の名称(tcp_name)を表示する。
	メモ	テキストボックス	データ提供者から差し戻された場合には、差し戻し理由を表示する(以前の内容に上書きされる)。テキストボックスは編集可能であり、前述の場合以外では、入力した内容を保持する。
	戻る	ボタン	「メニュー」画面に遷移する。

4.4.6 取引契約詳細画面

4.4.6.1 画面レイアウト

Hyper Connection Manager

取引契約詳細

取引契約プロフィール

取引契約ID	20000000000000000000	取引名	
事業者ID		事業者名/役割区分	
取引先ID	FEDCBA9876543210	取引先名/役割区分	
取引先ターミナル	10000000000000000000	実施ユニット/区分	
提供元ターミナル	10000000000000000000	実施ユニット/区分	

変更画面へ

取引データプロフィール

データID	20010000000000000000	データ名	
共通データID	40004085a8e6faf7eff	共通データ名	基本仕様共通辞書
個別データID	41004085a8e6eb73afc	個別データ名	サイトB(HKE)個別辞書

変更画面へ

取引サービスプロフィール

提供サービスID		提供サービス名	
利用サービスID	20020000000000000000	利用サービス名	
開始トリガ	利用者	開始イベント/イベント区分	
取引開始要件		開始日時	
取引終了要件		終了日時	

変更画面へ

サンプルデータ

サンプルデータ登録

サンプルデータ照会

操作

登録

削除

申請

戻る

図 4-7: 取引契約詳細画面レイアウト

操作

受理

差戻し

戻る

図 4-8: 取引契約詳細画面レイアウト(「受理」「差戻し」ボタンの表示例)

操作

登録

戻る

図 4-9: 取引契約詳細画面レイアウト(役割区分が提供者の場合の「登録」ボタンの表示例)

4.4.6.2 項目一覧

表 4-7: 取引契約詳細画面項目一覧

No.	ラベル／名称	種類	説明
1	取引契約プロファイル	—	TCP の概要を表示する。
2	取引契約 ID	ラベル	TCP の ID(tcp_id)を表示する。
3	取引名	ラベル	TCP の名称(tcp_name)を表示する。
4	事業者 ID	ラベル	TCP のデータ提供者の ID(owner_id)を表示する。
5	事業者名/役割区分	ラベル	TCP のデータ提供者の名称(owner_name)を表示する。
6	「役割区分」欄(上)	ラベル	「提供者」と表示する。
7	取引先 ID	ラベル	TCP のデータ利用者の ID(user_id)を表示する。
8	取引先名/役割区分	ラベル	TCP のデータ利用者の名称(user_name)を表示する。
9	「役割区分」欄(下)	ラベル	「利用者」と表示する。
10	取引先ターミナル	ラベル	TCP のデータ利用者のターミナル (HCT) の ID(user_hct_id)を表示する。
11	実施ユニット/区分	ラベル	TCP のデータ利用者の実施ユニット (ECU または EAU)の ID(user_unit_id)を表示する。
12	「区分」欄(上)	ラベル	TCP のデータ利用者の実施ユニット (ECU または EAU)の区分(user_unit_class)を表示する。
13	提供元ターミナル	ラベル	TCP のデータ提供者のターミナル (HCT) の ID(owner_hct_id)を表示する。
14	実施ユニット/区分	ラベル	TCP のデータ提供者の実施ユニット (ECU または EAU)の ID(owner_unit_id)を表示する。
15	「区分」欄(下)	ラベル	TCP のデータ提供者の実施ユニット (ECU または EAU)の区分(owner_unit_class)を表示する。
16	変更画面へ	ボタン	「取引契約プロファイル」画面に遷移する。処理ステータスなどにより非活性または非表示となる。詳細は表 4-8～表 4-11 を参照のこと。
17	取引データプロファイル	—	取引データプロファイルの概要を表示する。
18	データプロファイル ID	ラベル	TDP の ID(tdp_id)を表示する。
19	データプロファイル名	ラベル	TDP の名称(tdp_name)を表示する。
20	共通データ辞書 ID	ラベル	TCP の共通辞書 ID(data_dictionary_id)を表示する。
21	共通データ辞書名	ラベル	TCP の共通辞書名(data_dictionary_name)を表示する。
22	個別データ辞書 ID	ラベル	TDP の辞書変換マップ ID のリストに設定されている個別データ辞書の ID を表示する。
23	個別データ辞書名	ラベル	TDP の辞書変換マップ ID のリストに設定されている個別データ辞書の名称を表示する。
24	変更画面へ	ボタン	「取引データプロファイル」画面に遷移する。処理ステータスなどにより非活性または非表示となる。詳細は表 4-8～表 4-11 を参照のこと。
25	取引サービスプロファイル	—	取引サービスプロファイルの概要を表示する。
26	提供サービス ID	ラベル	TCP のデータ提供者の TSP の ID(owner_tsp_id)を表示する。

No.	ラベル／名称	種類	説明
27	提供サービス名	ラベル	[提供者]：TSP の名称(tsp_name)を表示する。 [利用者]：空欄。
28	利用サービス ID	ラベル	TCP のデータ利用者の TSP の ID(user_tsp_id)を表示する。
29	利用サービス名	ラベル	[提供者]：空欄。 [利用者]：TSP の名称(tsp_name)を表示する。
30	開始トリガ	ラベル	TCP の開始トリガ(trigger)を表示する。
31	開始イベント/イベント区分	ラベル	TCP の開始イベント(start_event)を表示する。
32	「イベント区分」欄	ラベル	TCP の開始イベントの区分(event_class)を表示する。
33	取引開始要件	ラベル	TSP の取引開始条件(transaction_start_condition)を表示する。
34	開始日時	ラベル	TSP の開始日(start_date)を表示する。
35	取引終了要件	ラベル	TSP の取引終了条件(transaction_end_condition)を表示する。
36	終了日時	ラベル	TSP の終了日(end_date)を表示する。
37	変更画面へ	ボタン	「取引データプロファイル」画面に遷移する。処理ステータスなどにより非活性または非表示となる。詳細は表 4-8～表 4-11 を参照のこと。
38	サンプルデータ	—	サンプルデータを登録および照会するためのボタンを表示する。各ボタンは、処理ステータスなどにより非活性または非表示となる。詳細は表 4-8～表 4-11 を参照のこと。
39	サンプルデータ登録	ボタン	「サンプルデータ」画面に遷移する。遷移先の「サンプルデータ」画面では、サンプルデータの登録が可能。
40	サンプルデータ照会	ボタン	「サンプルデータ」画面に遷移する。遷移先の「サンプルデータ」画面では、登録済みのサンプルデータの照会が可能。
41	操作		取引契約を操作するためのボタンを表示する。各ボタンは、処理ステータスなどにより非活性または非表示となる。詳細は表 4-8～表 4-11 を参照のこと。
42	登録	ボタン	[利用者]：取引契約プロファイル、取引データプロファイル、取引サービスプロファイルを仮登録する。 [提供者]：自サイトで公開する利用可能な取引契約を公開する。あるいは、取引先(利用者)から申請されたプル型の取引契約に対し、自サイトのプロファイルを登録し、取引可能にする。
43	削除	ボタン	取引契約プロファイル・取引データプロファイル・取引サービスプロファイルを削除し、「取引契約一覧」画面に遷移する。
44	申請	ボタン	取引契約プロファイルを取引先(提供者)へ申請し、「取引契約一覧」画面に遷移する。
45	受理	ボタン	取引先(利用者)から申請された取引契約を受理する。プル型の取引契約の場合は、「マッピング」画面に遷移する。プッシュ型の取引契約の場合には、「取引契約一覧」画面に遷移する。

No.	ラベル／名称	種類	説明
46	差戻し	ボタン	取引先(利用者)からの申請を差し戻し、「取引契約一覧」画面に遷移する。
47	戻る	ボタン	前画面に遷移する。

表 4-8: ボタンの表示有無と活性状態(役割区分：利用者、取引の形態：プル型の場合)

処理ステータス ボタン名		(仮登録前)	仮登録済	申請中	差戻し	取引中
変更画面へ		●	●	—	●	—
サンプル データ	サンプルデータ 登録	—	—	—	—	—
	サンプルデータ 照会	—	—	—	—	●
操作	登録	△※ ¹	●	—	△※ ²	—
	削除	△	●※ ³	—	△	—
	申請	△	●※ ³	—	△	—
	戻る	●	●	●	●	●

【凡例】●：活性 △：非活性 —：非表示

注 1: 「(仮登録前)」は処理ステータスとは異なり、仮登録(「取引契約詳細」画面で「登録」ボタンをクリック)する以前の状態を表す。

注 2: 「変更画面へ」ボタンは画面内に 3 つ存在するが、ボタンの状態はすべて同じとなる。

※1: すべてのプロフィールが保存されると活性となる。

※2: いずれかのプロフィールが再度保存されると活性となる。

※3: いずれかのプロフィールを保存し直すと非活性となる(再度、仮登録すると活性に戻る)。

表 4-9: ボタンの表示有無と活性状態(役割区分：提供者、取引の形態：プル型の場合)

処理ステータス ボタン名		申請受信	差戻し	申請処理中 (サンプルデータ登録前)	申請処理中 (サンプルデータ登録後)	取引中
変更画面へ		—	—	—	●	—
サンプルデータ	サンプルデータ登録	—	—	—	●	—
	サンプルデータ照会	—	—	—	—	—
操作	受理	●	—	●	—	—
	差戻し	●	—	△	—	—
	登録	—	—	—	△※1	—
	削除	—	—	—	—	—
	戻る	●	●	●	●	●

【凡例】●：活性 △：非活性 —：非表示

注 1: 「変更画面へ」ボタンは画面内に 3 つ存在するが、ボタンの状態はすべて同じとなる。

※1: すべてのプロフィールが登録されると活性となる。

表 4-10: ボタンの表示有無と活性状態(役割区分：利用者、取引の形態：プッシュ型の場合)

処理ステータス ボタン名		(利用可能な取引契約の参照時)	(仮登録前)	仮登録済	申請中	差戻し	取引中
変更画面へ		—	●	●	—	●	—
サンプルデータ	サンプルデータ登録	—	—	—	—	—	—
	サンプルデータ照会	●	—	—	●	—	●
操作	登録	—	△※1	●	—	△※2	—
	削除	—	△	●※3	—	△	—
	申請	—	△	●※3	—	△	—
	戻る	●	●	●	●	●	●

【凡例】●：活性 △：非活性 —：非表示

注 1: 「(利用可能な取引契約の参照時)」は処理ステータスとは異なり、他サイトが公開する利用可能な取引契約の内容を表示している状態を表す。

注 2: 「(仮登録前)」は処理ステータスとは異なり、仮登録(「取引契約詳細」画面で「登録」ボタンをクリック)する前の状態を表す。

注 3: 「変更画面へ」ボタンは画面内に 3 つ存在するが、ボタンの状態はすべて同じとなる。

※1: すべてのプロフィールが保存されると活性となる。

※2: いずれかのプロフィールが再度保存されると活性となる。

※3: いずれかのプロフィールを保存し直すと非活性となる(再度、仮登録すると活性に戻る)。

表 4-11: ボタンの表示有無と活性状態(役割区分：提供者、取引の形態：プッシュ型の場合)

処理ステータス ボタン名		(公開前)	公開中	申請受信	差戻し	取引中
変更画面へ		△※1	●	—	—	—
サンプル データ	サンプルデータ 登録	●※2	△	—	—	—
	サンプルデータ 照会	—	—	●	●	●
操作	受理	—	—	●	△	△
	差戻し	—	—	●※3	△	△
	登録	△※1	—	—	—	—
	削除	△	●	—	—	—
	戻る	●	●	●	●	●

【凡例】●：活性 △：非活性 —：非表示

注 1: 「(公開前)」は処理ステータスとは異なり、自サイトが公開する利用可能な取引契約を登録する前の状態を表す。

注 2: 「変更画面へ」ボタンは画面内に 3 つ存在するが、ボタンの状態はすべて同じとなる。

※1: サンプルデータを登録すると活性となる。

※2: サンプルデータを登録すると非活性となる。

※3: 受信した取引契約を受理(「受理」ボタンをクリック)すると非活性となる。

4.4.7 マッピング画面

4.4.7.1 画面レイアウト

Hyper Connection Manager

HCM マッピング

▶取引契約プロファイル概要

取引契約プロファイルID (新規登録) 取引契約プロファイル名

個別データ辞書(ADD)

ADD ID	ADD名	主DCM ID	主DCM名
41004085a8e6f	サイトB(HKE)個別辞書	41007cb9a5b8f	設備

データモデル名	項目名	データ型	データ例	No.
設備	設備点検指示	string		1
	設備種別	string		2
	設備ID	string		3
	設備名	string		4
	図面番号	string		5
	点検部位	string		6
	点検方法	string		7
	治具番号	string		8
	点検項目	string		9
	点検結果	string		10
	点検結果単位	string		11
	点検合格区分	string		12
	点検員ID	string		13
	点検予定日時	string		14
	点検実施日時	string		15

共通データ辞書(SDD)

SDD ID	SDD名	主DCM ID	主DCM名
40004085a8e6f	基本仕様共通辞書	40007cb9a5b8f	点検指示

No.	データモデル名	項目名	データ型	データ例	
1	点検指示	点検指示	string		
		設備ID	string		
		点検手順	string		
		点検項目	string		
10		点検結果	string		
		合格区分	string		
		検査員ID	string		
		予定日時	string		
		実施日時	string		
15		設備	設備ID	string	
		設備種別	string		
		メーカー	string		
		型式	string		
		設備名	string		
		図面番号	string		
	設置場所	string			
	点検実施日時	string			
	点検手順	点検手順	string		
		設備区分	string		
9		点検部位	string		
		点検方法	string		
		検査機器	string		

登録 戻る

図 4-10: マッピング画面レイアウト

4.4.7.2 項目一覧

表 4-12: マッピング画面項目一覧

No.	ラベル／名称	種類	説明
1	取引契約プロファイル概要	—	取引契約の概要を表示する。
2	取引契約プロファイルID	ラベル	TCP の ID(tcp_id)を表示する。仮登録前の場合は「(新規登録)」と表示する。
3	取引契約プロファイル名	ラベル	TCP の名称(tcp_name)を表示する。
4	ADD(個別データ辞書)	—	ADD の概要を表示する。
5	ADD ID	ラベル	No.6 で選択した ADD の ID(data_dictionary_id)を表示する。表示内容は TSP の「data_dictionary_id」に反映される。
6	ADD 名	プルダウンリスト	自サイトの ADD の名称(service_dictionary_name)をリスト表示し、利用する ADD を設定する。選択内容は、TSP の「service_dictionary_name」に反映される。

No.	ラベル／名称	種類	説明
7	主 DCM ID	ラベル	No.8 で選択した DCM の ID(dcm_id)を表示する。
8	主 DCM 名	プルダウンリスト	No.3 で選択した ADD に含まれる DCM の名称 (dcm_name)をリスト表示し、利用する DCM を設定する。
9	個別データ辞書項目一覧	－	No.8 で選択した DCM(主 DCM)と、その DCM に連結する DCM の名称と DPD を一覧表示する。 マウスで行をドラッグし、No.16 にドロップすることでマッピングする。マッピングされた行の間には線を描画する。線の色は主 DCM の主キー間は赤色、新規でマッピングした場合は青色、マッピングがすでに存在する場合は橙色とする。
10	データモデル名	ラベル	DCM の名称(dcm_name)を表示する。
11	項目名	ラベル	DPD の名称(dpd_name)を表示する。
12	データ型	ラベル	DPD のデータ型(dpd_type)を表示する。
13	データ例	ラベル	DPD のサンプル(sample_value)を表示する。
14	No.	ラベル	一覧表の項番を表示する。
15	×	ボタン	該当行のマッピングを削除する。ただし、主 DCM の主キー間のマッピングは削除不可。
16	共通データ辞書(SDD)	－	SDD の概要を表示する。
17	SDD ID	ラベル	No.18 で選択した SDD の ID を表示する。表示内容は TCP の共通辞書 ID(data_dictionary_id)に反映される。
18	SDD 名	プルダウンリスト	自サイトが利用可能な SDD の一覧をリスト表示し、利用する SDD を設定する。選択内容は TCP の「data_dictionary_name」に反映される。
19	主 DCM ID	ラベル	No.20 で選択した DCM の ID(dcm_id)を表示する。
20	主 DCM 名	プルダウンリスト	No.18 で選択した SDD に含まれる DCM の名称の一覧をリスト表示し、利用する DCM を設定する。
21	共通データ辞書項目一覧	－	No.20 で選択した DCM と、その DCM に連結する DCM の名称と DPD を一覧表示する。 マウスで No.9 の行をドロップすることでマッピングする。
22	×	ボタン	該当行のマッピングを削除する。ただし、主 DCM の主キー間のマッピングは削除不可。
23	No.	ラベル	表の項番を表示する。
24	データモデル名	ラベル	DCM の名称(dcm_name)を表示する。
25	項目名	ラベル	DPD の名称(dpd_name)を表示する。
26	データ型	ラベル	DPD のデータ型(dpd_type)を表示する。
27	データ例	ラベル	DPD のサンプル(sample_value)を表示する。
28	登録	ボタン	マッピングされた内容で辞書変換マップ(DTM)を追加(あるいは更新)し、「取引契約詳細」画面に遷移する。ただし、遷移元が「取引データプロファイル」の場合は「取引データプロファイル」画面に遷移する。
29	戻る	ボタン	前画面に遷移する。

4.4.8 取引契約プロファイル画面

4.4.8.1 画面レイアウト

図 4-11: 取引契約プロファイル画面レイアウト

4.4.8.2 項目一覧

表 4-13: 取引契約プロファイル画面項目一覧

No.	ラベル／名称	種類	説明
	作成者	テキストボックス	TCP の作成者(author)を表示・設定する。
	作成日	テキストボックス	TCP の作成日(created_date)を表示・設定する。 初期値は現在日付を表示する。
	取引契約プロファイル	—	TCP の概要を表示する。
	取引契約プロファイル ID	ラベル	TCP の ID(tcp_id)を表示する。仮登録前の場合には「(新規登録)」と表示する。
	取引契約プロファイル名	テキストボックス	TCP の名称(tcp_name)を表示する。
	共通データ辞書 ID	ラベル	TCP の共通辞書 ID(data_dictionary_id)を表示する。
	共通データ辞書名	ラベル	TCP の共通辞書名(data_dictionary_name)を表示する。
	開始トリガ	ラベル	TCP の開始トリガ(trigger)を表示する。 プッシュ型の取引契約の場合は「提供者」、プル型の取引契約の場合は「利用者」と表示する。

No.	ラベル／名称	種類	説明
	開始イベント	テキストボックス	TCP の開始イベント(start_event)を表示・設定する。
	イベント区分	テキストボックス	TCP のイベント区分(event_class)を表示・設定する。
	取引開始要件	テキストボックス	TCP の取引開始条件(transaction_start_condition)を表示・設定する。
	開始日時	テキストボックス	TCP の開始日(start_date)を表示・設定する。
	取引終了要件	テキストボックス	TCP の取引終了条件(transaction_end_condition)を表示・設定する。
	終了日時	テキストボックス	TCP の終了日(end_date)を表示・設定する。
	事業者情報	—	自サイトの各種情報を表示・設定する。
	事業者 ID／役割区分	テキストボックス	[提供者]:TCP のデータ提供者の ID(owner_id)を表示・設定する。 [利用者]: TCP のデータ利用者の ID(user_id)を表示・設定する。
	「役割区分」欄	ラベル	[提供者]: 青背景で「提供者」と表示する。 [利用者]: 橙背景で「利用者」と表示する。
	事業者名	テキストボックス	[提供者]:TCP のデータ提供者の名称(owner_name)を表示・設定する。 [利用者]: TCP のデータ利用者の名称(user_name)を表示・設定する。
	ターミナル ID	テキストボックス	[提供者]: TCP のデータ提供者のターミナル(HCT)の ID(owner_hct_id)を表示・設定する。 [利用者]: TCP のデータ利用者のターミナル(HCT)の ID(user_hct_id)を表示・設定する。
	実施ユニット ID/区分	テキストボックス	[提供者]: TCP のデータ提供者の実施ユニット(ECU または EAU)の ID(owner_unit_id)を表示・設定する。 [利用者]: TCP のデータ利用者の実施ユニット(ECU または EAU)の ID(user_unit_id)を表示・設定する。
	「区分」欄	プルダウンリスト	[提供者]: TCP のデータ提供者の実施ユニット(ECU または EAU)の区分(owner_unit_class)を表示・設定する。 [利用者]: TCP のデータ利用者の実施ユニット(ECU または EAU)の区分(user_unit_class)を表示・設定する。
	実施デバイス ID/区分	テキストボックス	[提供者]: TCP のデータ提供者の実施デバイス(EDU)の ID(owner_edu_id)を表示・設定する。 [利用者]: TCP のデータ利用者の実施デバイス(EDU)の ID(user_edu_id)を表示・設定する。
	取引データプロファイル ID	ラベル	[提供者]: TCP のデータ提供者の TDP の ID(owner_tdp_id)を表示する。自サイトで公開する利用可能な取引契約の登録前の場合は「(新規登録)」と表示する。 [利用者]: TCP のデータ利用者の TDP の ID(user_tdp_id)を表示する。仮登録前の場合は「(新規登録)」と表示する。
	取引データプロファイル名	ラベル	自サイトの TDP の名称(tdp_name)を表示する。
	変更画面へ(上)	ボタン	「取引データプロファイル」画面に遷移する。

No.	ラベル／名称	種類	説明
	取引サービスプロファイル ID	ラベル	[提供者]：TCP のデータ提供者の TSP の ID(owner_tsp_id)を表示する。自サイトで公開する利用可能な取引契約の登録前の場合は「(新規登録)」と表示する。 [利用者]：TCP のデータ利用者の TSP の ID(user_tsp_id)を表示する。仮登録前の場合は「(新規登録)」と表示する。
	取引サービスプロファイル名	ラベル	自サイトの TSP の名称(tsp_name)を表示する。
	変更画面へ(下)	ボタン	「取引サービスプロファイル」画面に遷移する。
	取引先情報	—	本取引契約における取引相手のサイト(相手サイト)の各種情報を表示・設定する。
	事業者 ID／役割区分	ラベル	[提供者]：TCP のデータ利用者の ID(user_id)を表示する。 [利用者]:TCP のデータ提供者の ID(owner_id)を表示する。
	「役割区分」欄	ラベル	[提供者]：橙背景で「利用者」と表示する。 [利用者]：青背景で「提供者」と表示する。
	事業者名	ラベル	[提供者]：TCP のデータ利用者の名称(user_name)を表示する。 [利用者]:TCP のデータ提供者の名称(owner_name)を表示する。
	ターミナル ID	ラベル	[提供者]：TCP のデータ利用者のターミナル(HCT)の ID(user_hct_id)を表示する。 [利用者]：TCP のデータ提供者のターミナル(HCT)の ID(owner_hct_id)を表示する。
	実施ユニット ID／区分	ラベル	[提供者]：TCP のデータ利用者の実施ユニット(ECU または EAU)の ID(user_unit_id)を表示する。 [利用者]：TCP のデータ提供者の実施ユニット(ECU または EAU)の ID(owner_unit_id)を表示する。
	「区分」欄	ラベル	[提供者]：TCP のデータ利用者の実施ユニット(ECU または EAU)の区分(user_unit_class)を表示する。 [利用者]：TCP のデータ提供者の実施ユニット(ECU または EAU)の区分(owner_unit_class)を表示する。
	実施デバイス ID／区分	ラベル	[提供者]：TCP のデータ利用者の実施デバイス(EDU)の ID(user_edu_id)を表示する。 [利用者]：TCP のデータ提供者の実施デバイス(EDU)の ID(owner_edu_id)を表示する。
	取引データプロファイル ID	ラベル	[提供者]：TCP のデータ利用者の TDP の ID(user_tdp_id)を表示する。 [利用者]：TCP のデータ提供者の TDP の ID(owner_tdp_id)を表示する。
	取引データプロファイル名	ラベル	空欄
	照会画面へ(上)	ボタン	※常に非活性

No.	ラベル／名称	種類	説明
	取引サービスプロファイル ID	ラベル	[提供者]：TCP のデータ利用者の TSP の ID(user_tsp_id)を表示する。 [利用者]：TCP のデータ提供者の TSP の ID(owner_tsp_id)を表示する。
	取引サービスプロファイル名	ラベル	空欄
	照会画面へ(下)	ボタン	※常に非活性
	リクエストパラメータ	－	TCP のリクエストパラメータ(request_parameter)を表示・設定する。
	No.	テキストボックス	一覧表の項番を表示する。
	形式／区分	テキストボックス	リクエストパラメータの形式／区分を表示・設定する。
	説明	テキストボックス	リクエストパラメータの説明を表示・設定する。
	制限事項	－	TCP の各種制限を表示・設定する。
	保存制限	テキストボックス	TCP の保存制限(storage_restriction)を表示・設定する。
	利用制限	テキストボックス	TCP の利用制限(use_restriction)を表示・設定する。
	改変制限	テキストボックス	TCP の改変制限(modified_restriction)を表示・設定する。
	開示範囲	テキストボックス	TCP の開示制限(disclosure_restriction)を表示・設定する。
	契約条件／課金要件	テキストボックス	TCP の契約条件・課金条件など(other_conditions)を表示・設定する。
	保存	ボタン	画面に入力した項目を HCM に一時保存し、「取引契約詳細」画面に遷移する。
	戻る	ボタン	前の画面に遷移する。

4.4.9 取引データプロファイル画面

4.4.9.1 画面レイアウト

The screenshot shows the HCM Hyper Connection Manager interface for the '取引データプロファイル' (Transaction Data Profile) screen. The title bar indicates 'HCM Hyper Connection Manager'. The main header is '取引データプロファイル' with a teal background. Below the header, there are several sections:

- 取引契約プロファイル概要** (Transaction Contract Profile Summary): A table with fields for '取引契約プロファイルID' (Transaction Contract Profile ID), '取引契約プロファイル名' (Transaction Contract Profile Name), '利用者' (User), '事業者ID' (Business ID), '事業者名' (Business Name), '提供者' (Provider), '取引先ID' (Counterparty ID), '取引先名' (Counterparty Name), '共通データ辞書ID' (Common Data Dictionary ID), and '共通データ辞書名' (Common Data Dictionary Name).
- 取引データプロファイル** (Transaction Data Profile): A table with fields for '取引データプロファイルID' (Transaction Data Profile ID), '取引データプロファイル名' (Transaction Data Profile Name), '個別データ辞書ID' (Individual Data Dictionary ID), '個別データ辞書名' (Individual Data Dictionary Name), 'データモデルID' (Data Model ID), 'データモデル名' (Data Model Name), 'カテゴリID' (Category ID), and 'カテゴリ名' (Category Name).
- 連結データ** (Linked Data): A table with columns 'No', 'データモデルID' (Data Model ID), 'データモデル名' (Data Model Name), '連結先' (Linked To), and '連結方法' (Linked Method).
- 取引開始/終了要件** (Transaction Start/End Conditions): A table with fields for '取引開始要件' (Transaction Start Conditions), '取引終了要件' (Transaction End Conditions), '開始日時' (Start Date/Time), and '終了日時' (End Date/Time).
- 制限事項** (Restrictions): A table with fields for '保存制限' (Save Restrictions), '利用制限' (Usage Restrictions), '変更制限' (Modification Restrictions), and '開示範囲' (Disclosure Scope).

At the bottom of the screen, there are buttons for '保存' (Save) and '戻る' (Back).

図 4-12: 取引データプロファイル画面レイアウト

4.4.9.2 項目一覧

表 4-14: 取引データプロファイル画面項目一覧

No.	ラベル／名称	種類	説明
	作成者	ラベル	TCP の作成者(author)を表示する。
	作成日	ラベル	TCP の作成日(created_date)を表示する。
	取引契約プロファイル概要	—	TCP の概要を表示する。
	取引契約プロファイルID	ラベル	TCP の ID(tcp_id)を表示する。 [提供者]: 自サイトで公開する利用可能な取引契約の公開前の場合は「(新規登録)」と表示する。 [利用者]: 仮登録前の場合は「(新規登録)」と表示する。
	取引契約プロファイル名	ラベル	TCP の 名称(tcp_name)を表示する。
	「役割区分」欄(上)	ラベル	TDP の区分(dcm_class)を表示する。 [提供者]: 青背景で「提供者」と表示する。 [利用者]: 橙背景で「利用者」と表示する。

No.	ラベル／名称	種類	説明
	事業者 ID	ラベル	[提供者]:TCP のデータ提供者の ID(owner_id)を表示する。 [利用者]: TCP のデータ利用者の ID(user_id)を表示する。
	事業者名	ラベル	[提供者]:TCP のデータ提供者の名称(owner_name)を表示する。 [利用者]: TCP のデータ利用者の名称(user_name)を表示する。
	「役割区分」欄(下)	ラベル	[提供者]: 橙背景で「利用者」と表示する。 [利用者]: 青背景で「提供者」と表示する。
	取引先 ID	ラベル	[提供者]: TCP のデータ利用者の ID(user_id)を表示する。 [利用者]:TCP のデータ提供者の ID(owner_id)を表示する。
	取引先名	ラベル	[提供者]: TCP のデータ利用者の名称(user_name)を表示する。 [利用者]:TCP のデータ提供者の名称(owner_name)を表示する。
	共通データ辞書 ID	ラベル	TCP の共通辞書 ID(data_dictionary_id)を表示する。
	共通データ辞書名	ラベル	TCP の共通辞書名(data_dictionary_name)を表示する。
	取引データプロファイル	ー	TDP の内容を表示・設定する。
	取引データプロファイル ID	ラベル	TDP の ID(udp_id)を表示する。 [提供者]: 自サイトで公開する利用可能な取引契約の公開前の場合、および利用者から申請された取引契約の登録前の場合は「(新規登録)」と表示する。 [利用者]: 仮登録前の場合は「(新規登録)」と表示する。
	取引データプロファイル名	テキストボックス	TDP の名称(udp_name)を表示・設定する。
	個別データ辞書 ID	ラベル	TDP の辞書変換マップ ID のリストに設定されている個別データ辞書の ID を表示する。
	個別データ辞書名	ラベル	TDP の辞書変換マップ ID のリストに設定されている個別データ辞書の名称を表示する。
	データモデル ID	ラベル	TSP のデータ ID(dcm_id)を表示する。
	データモデル名	ラベル	TSP のデータ名(dcm_name)を表示する。
	カテゴリ ID	ラベル	TSP のカテゴリ ID(category_id)を表示する。
	カテゴリ名	ラベル	TSP のカテゴリ名(category_name)を表示する。
	区分	ラベル	[提供者]: 「提供」と表示する。 [利用者]: 「利用」と表示する。
	連結データ	ー	取引契約に用いる主 DCM に連結 DCM がある場合に、連結 DCM の内容を表示する。 (※本バージョンは非表示)
	No.	テキストボックス	表の項番を表示する
	データモデル ID	テキストボックス	ー
	データモデル名	プルダウンリスト	ー
	連結先	テキストボックス	ー
	連結方法	テキストボックス	ー
	マッピング変更	ボタン	「マッピング」画面に遷移する。

No.	ラベル／名称	種類	説明
	取引開始／終了要件	－	TDP の取引開始／終了の条件を表示・設定する。
	取引開始要件	テキストボックス	TDP の取引開始条件(transaction_start_condition)を表示・設定する。
	開始日時	テキストボックス	TDP の開始日(start_date)を表示・設定する。
	取引終了要件	テキストボックス	TDP の取引終了条件(transaction_end_condition)を表示・設定する。
	終了日時	テキストボックス	TDP の終了日(end_date)を表示・設定する。
	制限事項	－	TDP の各種制限を表示・設定する。
	保存制限	テキストボックス	TDP の保存制限(storage_restriction)を表示・設定する。
	利用制限	テキストボックス	TDP の利用制限(use_restriction)を表示・設定する。
	改変制限	テキストボックス	TDP の改変制限(modified_restriction)を表示・設定する。
	開示範囲	テキストボックス	TDP の開示制限(disclosure_restriction)を表示・設定する。
	保存	ボタン	画面に入力した項目を HCM に一時保存し、「取引契約詳細」画面に遷移する。
	戻る	ボタン	前の画面に遷移する。

4.4.10 取引サービスプロファイル画面

4.4.10.1 画面レイアウト

Hyper Connection Manager

HCM

取引サービスプロフィール

作成者

作成日

2018/12/11

▶取引契約プロフィール概要

取引契約プロフィールID	(新規登録)	取引契約プロフィール名	
利用者	事業者ID	事業者名	
提供者	取引先ID	取引先名	
共通データ辞書ID	40004005a0e6faf7eff1aa55129fd643	共通データ辞書名	基本仕様共通辞書

▶取引サービスプロフィール

取引サービスプロフィールID	(新規登録)	取引サービスプロフィール名	
個別サービス辞書ID		個別サービス辞書名	▼
データモデルID	41007cb9a5b08eadb1cc1bab0a1c4fee	データモデル名	設備
プロセスID		プロセス名	▼
カテゴリID	4000ec8c804b08b4bbcb066a0a80cf7c	カテゴリ名	設備管理
ユニットID		ユニット名	
ターミナルID	100000000000000000000000000000061	ターミナル名	
取引開始要件		開始日時	
取引終了要件		終了日時	

■起動イベント／終了イベントの記録

No	イベントID	イベント名	区分	記録

■関連データの制約

No	データモデルID	データモデル名	区分	制約

■データ2次開示先

No	ユニットID	ユニット名	開示レベル	アクセス制限

保存戻る

図 4-13: 取引サービスプロファイル画面レイアウト

4.4.10.2 項目一覽

表 4-15: 取引サービスプロファイル画面項目一覧

No.	ラベル／名称	種類	説明
1	作成者	ラベル	TCP の作成者(author)を表示する
2	作成日	ラベル	TCP の作成日(created_date)を表示する。
3	取引契約プロファイル概要	－	TCP の概要を表示する
4	取引契約プロファイル ID	ラベル	TCP の ID(tcp_id)を表示する。 仮登録前の場合は「(新規登録)」と表示する。
5	取引契約プロファイル名	ラベル	TCP の名称(tcp_name)を表示する。
6	「役割区分」欄(上)	ラベル	TDP の区分(dcm_class)を表示する。 [提供者]：青背景で「提供者」と表示する。 [利用者]：橙背景で「利用者」と表示する。

No.	ラベル／名称	種類	説明
7	事業者 ID	ラベル	[提供者]:TCP のデータ提供者の ID(owner_id)を表示する。 [利用者]: TCP のデータ利用者の ID(user_id)を表示する。
8	事業者名	ラベル	[提供者]:TCP のデータ提供者の名称(owner_name)を表示する。 [利用者]: TCP のデータ利用者の名称(user_name)を表示する。
9	「役割区分」欄(下)	ラベル	[提供者]: 橙背景で「利用者」と表示する。 [利用者]: 青背景で「提供者」と表示する。
10	取引先 ID	ラベル	[提供者]:TCP のデータ提供者の ID(owner_id)を表示する。 [利用者]: TCP のデータ利用者の ID(user_id)を表示する。
11	取引先名	ラベル	[提供者]:TCP のデータ提供者の名称(owner_name)を表示する。 [利用者]: TCP のデータ利用者の名称(user_name)を表示する。
12	共通データ辞書 ID	ラベル	TCP の共通データ辞書 ID(data_dictionary_id)を表示する。
13	共通データ辞書名	ラベル	TCP の共通データ辞書名(data_dictionary_name)を表示する。
14	取引サービスプロファイル	—	TSP の内容を表示・設定する。
15	取引サービスプロファイル ID	ラベル	TSP の ID(tsp_id)を表示する。 仮登録前の場合は「(新規登録)」と表示する。
16	取引サービスプロファイル名	テキストボックス	TSP の名称(tsp_name)を表示する。
17	個別サービス辞書 ID	ラベル	No.18 で選択した個別サービス辞書 ID を表示する。 表示内容は TSP の「service_dictionary_id」に反映される。
18	個別サービス辞書名	プルダウンリスト	自サイトの ASD の名称をリスト表示し、利用する ASD を設定する。 選択内容は TSP の「service_dictionary_name」に反映される。
19	データモデル ID	ラベル	TSP のデータ ID(dcm_id)を表示する。
20	データモデル名	ラベル	TSP のデータ名称(dcm_name)を表示・設定する。
21	プロセス ID	ラベル	No.18 で選択したプロセスの ID を表示する。 表示内容は TSP の「process_id」に反映される。
22	プロセス名	プルダウンリスト	No.18 で選択した ASD のプロセスの名称をリスト表示し、利用するプロセスを設定する。 選択内容は TSP の「process_name」に反映される。
23	配置 ID	テキストボックス	TSP の配置 ID(arrangement_id)を表示・設定する。
24	カテゴリ ID	ラベル	TSP のカテゴリ ID(category_id)を表示する。
25	カテゴリ名	テキストボックス	TSP のカテゴリ名(category_name)を表示・設定する。
26	区分	ラベル	TSP の区分(data_class)を表示する。
27	ユニット ID	テキストボックス	TSP のユニット ID(unit_id)を表示・設定する。
28	ユニット名	テキストボックス	TSP のユニット名(unit_name)を表示・設定する。

No.	ラベル／名称	種類	説明
29	ターミナル ID	テキストボックス	TSP のターミナル ID(hct_id)を表示・設定する。
30	ターミナル名	テキストボックス	TSP のターミナル名(hct_name)を表示・設定する。
31	取引開始要件	テキストボックス	TSP の取引開始条件(transaction_start_condition)を表示・設定する。
32	開始日時	テキストボックス	TSP の開始日(start_date)を表示・設定する。
33	取引終了要件	テキストボックス	TSP の取引終了上条件(transaction_end_condition)を表示・設定する。
34	終了日時	テキストボックス	TSP の終了日(end_date)を表示・設定する。
35	起動イベント／終了イベントの記録	－	TSP の起動/終了イベントリスト(event_list)を表示・設定する。
36	No.	テキストボックス	表の項番を表示する。
37	イベント ID	テキストボックス	イベント ID(event_id)を表示・設定する。
38	イベント名	テキストボックス	イベント名(event_name)を表示・設定する。
39	区分	テキストボックス	イベントの区分(event_class)を表示・設定する。
40	記録	テキストボックス	イベントの記録(event_archive)を表示・設定する。
41	関連データの制約	－	TSP の 関 連 デ ー タ の 制 約 リ ス ト (data_restriction_list)を表示・設定する。
42	No.	テキストボックス	表の項番を表示する。
43	データモデル ID	テキストボックス	関連データのデータ ID(dcm_id)を表示・設定する。
44	データモデル名	テキストボックス	関連データのデータ名(dcm_name)を表示・設定する。
45	区分	テキストボックス	関連データの区分(dcm_class)を表示・設定する。
46	制約	テキストボックス	関連データの制約(dcm_restriction)を表示・設定する。
47	データ 2 次開示先	－	TSP の デ ー タ 2 次 開 示 先 リ ス ト (secondary_disclosure_list)を表示・設定する。
48	No.	テキストボックス	表の項番を表示する。
49	ユニット ID	テキストボックス	データ 2 次開示先リストのユニット ID(unit_id)を表示・設定する。
50	ユニット名	テキストボックス	データ 2 次開示先リストのユニット名(unit_name)を表示・設定する。
51	開示レベル	テキストボックス	データ 2 次開示先リストの開示レベル(disclosure_level)を表示・設定する。
52	アクセス制限	テキストボックス	データ 2 次開示先リストのアクセス制限(access_restriction)を表示・設定する。
53	保存	ボタン	画面に入力した項目を HCM に一時保存し「取引契約詳細」画面に遷移する。
54	戻る	ボタン	前の画面に遷移する。

4.4.11 サンプルデータ画面

4.4.11.1 画面レイアウト

HCM Hyper Connection Manager

HCM サンプルデータ

▶取引契約プロフィール概要

取引契約プロフィールID	200000000000000000000000000000000054	取引契約プロフィール名	
提供者	事業者ID	事業者名	
利用者	取引先ID	取引先名	
共通データ辞書ID	40004005a0e6faf7eff1aa55129fd643	共通データ辞書名	基本仕様共通辞書

▶提供可能なサンプルデータの選択

サンプル提供	No	実施番号	設備ID	点検項目	点検実施日時
☒	1	JS0000000000000001	STB10000002	日常点検	2019/01/07 10:02:00
☐	2	JS0000000000000002	STB10000004	臨時点検	2019/01/10 12:12:00
☐	3	JS0000000000000003	STB10000012	定期点検(1か月)	2019/01/07 09:34:00
☐	4	JS0000000000000004	STB10000014	臨時点検	2019/01/12 09:23:00
☐	5	JS0000000000000005	STB10000003	日常点検	2019/01/17 15:42:00
☐	6	JS0000000000000006	STB10000001	日常点検	2019/02/07 11:32:00
☐	7	JS0000000000000007	STB10000025	定期点検(1か月)	2019/02/07 13:06:00
☐	8	JS0000000000000008	STB10000045	日常点検	2019/02/15 10:02:00
☐	9	JS0000000000000009	STB10000032	定期点検(1か月)	2019/02/27 15:52:00

取得

保存

戻る

図 4-14: サンプルデータ画面レイアウト(提供者)


Hyper Connection Manager


サンプルデータ

取引契約プロフィール概要

取引契約プロフィールID	200000000000000000000000000000054	取引契約プロフィール名	
利用者	880000000000000000000000000000033	事業者名	
提供者	取引先ID	取引先名	
共通データ辞書ID	40004085a9e6faf7eff1aa55129fd643	共通データ辞書名	基本仕様共通辞書

サンプルデータ一覧

No	実施番号	設備ID	点検項目	点検実施日時
1	JS0000000000000001	STB10000002	日常点検	2019/01/07 10:02:00
2	JS0000000000000004	STB10000014	臨時点検	2019/01/12 09:23:00
3	JS0000000000000007	STB10000025	定期点検(1か月)	2019/02/07 13:06:00

図 4-15: サンプルデータ画面レイアウト(利用者)

4.4.11.2 項目一覧

表 4-16: サンプルデータ画面項目一覧

No.	ラベル／名称	種類	説明
1	取引契約プロファイル概要	－	TCP の概要を表示する。
2	取引契約プロファイル ID	ラベル	TCP の ID(tcp_id)を表示する。
3	取引契約プロファイル名	ラベル	TCP の名称(tcp_name)を表示する。
4	「役割区分」欄(上)	ラベル	TDP の区分(dcm_class)を表示する。 [提供者]: 青背景で「提供者」と表示する。 [利用者]: 橙背景で「利用者」と表示する。
5	事業者 ID	ラベル	[提供者]: TCP のデータ提供者の ID(owner_id)を表示する。 [利用者]: TCP のデータ利用者の ID(user_id)を表示する。
6	事業者名	ラベル	[提供者]: TCP のデータ提供者の名称(owner_name)を表示する。 [利用者]: TCP のデータ利用者の名称(user_name)を表示する。
7	「役割区分」欄(下)	ラベル	[提供者]: 橙背景で「利用者」と表示する。 [利用者]: 青背景で「提供者」と表示する。
8	取引先 ID	ラベル	[提供者]: TCP のデータ利用者の ID(user_id)を表示する。 [利用者]: TCP のデータ提供者の ID(owner_id)を表示する。
9	取引先名	ラベル	[提供者]: TCP のデータ利用者の名称(user_name)を表示する。 [利用者]: TCP のデータ提供者の名称(owner_name)を表示する。
1	共通データ辞書 ID	ラベル	TCP の共通辞書 ID(data_dictionary_id)を表示する。
1	共通データ辞書名	ラベル	TCP の共通辞書名(data_dictionary_name)を表示する。
1	提供可能なサンプルデータの選択	－	データ提供者が、提供するサンプルデータを選択する場合に表示する。
1	サンプル提供	チェックボックス	提供するサンプルデータを設定する。
1	No.	ラベル	表の項番を表示する。
1	(その他の項目)	ラベル	サンプルデータの各項目を表示する。
1	サンプルデータ一覧	－	データ提供者やデータ利用者が、提供されているサンプルデータを照会する場合に表示する。
1	No.	ラベル	表の項番を表示する。
1	(その他の項目)	ラベル	サンプルデータの各項目を表示する。
1	取得	ボタン	データ提供者が、提供するサンプルデータを選択する場合は、サンプルデータ設定ファイルからデータを読み込み、一覧表示する。 データ提供者やデータ利用者が、提供されているサンプルデータを照会する場合は、サンプルデータが登録された HCT からサンプルデータを取得し、一覧表示する。

No.	ラベル／名称	種類	説明
2	登録	ボタン	No.XX で選択された行のデータをサンプルデータとして登録する。 データ提供者やデータ利用者が、提供されているサンプルデータを照会する場合には非活性。
2	戻る	ボタン	「取引契約登録」画面に戻る。

5. データ構造

本章では、HCM／HDS で用いるデータのデータ構造および JSON 形式のサンプルを示す。

表 5-1: データ一覧

No.	種別	データ名
1	データ辞書	共通データ辞書(SDD)および個別データ辞書(ADD)
2		データモデル(DCM)
3		データ定義項目(DPD)
4		データ連結(DRM)
5	サービス辞書	共通サービス辞書(SSD)および個別サービス辞書(ASD)
6		プロセスモデル(PCM)
7		イベントモデル(ECM)
8	変換マップ	辞書変換マップ(DTM)
9		項目変換マップ(PTM)
10	カテゴリ辞書	カテゴリ辞書(SCD)
11		データカテゴリ(DCC)、プロセスカテゴリ(PCC)およびイベントカテゴリ(ECC)

なお、取引契約プロファイル(TCP)、取引データプロファイル(TDP)、取引サービスプロファイル(TSP)のデータ構造については、「表 1-1: 関連ドキュメント」の No.2 を参照のこと。

5.1 データ辞書

5.1.1 共通データ辞書(SDD)・個別データ辞書(ADD)

本項では、共通データ辞書(SDD)や個別データ辞書(ADD)を表すデータ構造について示す。

5.1.1.1 データ構造

表 5-2: 共通データ辞書(SDD)・個別データ辞書(ADD)のデータ構造

No.	項目名	説明	データ型
1	data_dictionary_id	データ辞書の ID	string
2	data_dictionary_name	データ辞書の名称	string
3	data_dictionary_description	データ辞書の説明	string
4	data_dictionary_type	共通データ辞書か個別データ辞書かの区分 •共通データ辞書の場合 : specific •個別データ辞書の場合 : actual	string
5	version	データ辞書のバージョンを表す数字（数字が大きい方が新しい）	number
6	previous_data_dictionary_id	前バージョンのデータ辞書の ID	string
7	owner_id	データ辞書を作成したユーザの ID	string
8	dcm_id_list	このデータ辞書に所属する DCM の ID の配列	string の配列
9	drm_id_list	このデータ辞書に所属する DRM の ID の配列	string の配列

5.1.1.2 JSON 形式のサンプル

共通データ辞書(SDD)を表す JSON 形式のサンプルを以下に示す。

```
{
  "data_dictionary_id": "sdd01",
  "data_dictionary_name": "共通辞書",
  "data_dictionary_description": "辞書の説明",
  "data_dictionary_type": "specific",
  "version": 1,
  "previous_data_dictionary_id": null,
  "owner_id": "0123456789",
  "dcm_id_list": ["dcm11", "dcm12"],
  "drm_id_list": ["drm11", "drm12"]
}
```

個別データ辞書(ADD)を表す JSON 形式のサンプルは、共通データ辞書(SDD)と同様である(例: 「data_dictionary_type」が「actual」となる)。

5.1.2 データモデル(DCM)

本項では、データモデル(DCM)を表すデータ構造について示す。

5.1.2.1 データ構造

表 5-3: データモデル(DCM)のデータ構造

No.	項目名	説明	データ型
1	dcm_id	DCM の ID	string
2	data_dictionary_id	所属するデータ辞書の ID	string
3	dcm_name	DCM の名称	string
4	dcm_description	DCM の説明	string
5	author	作成者	string
6	creation_date	作成日	string
7	category_dictionary_id	カテゴリ辞書の ID	string
8	component_category_id	データカテゴリの ID	string
9	pcm_operation_list	データを扱うプロセスの配列	ProcessComponentModelOperation の配列
10	information_design_list	情報デザインの配列	InformationDesign の配列
11	dpd_list	データ項目の配列	DataPropertyDefinition の配列

表 5-4: PCM 操作(ProcessComponentModelOperation)のデータ構造

No.	項目名	説明	データ型
1	pcm_operation_type	PCM が行う操作の区分 •生成: create •修正: modify •入力: input •参照: refer	string
2	pcm_id	PCM の ID	string
3	service_dictionary_id	PCM が所属するサービスの ID	string
4	remarks	備考	string

表 5-5: 情報デザイン(InformationDesign)のデータ構造

No.	項目名	説明	データ型
1	information_design_type	情報デザインの区分	string
2	information_design_id	情報デザインの ID。ID だが他のデータと連携はせず単に文字列として扱う	string
3	information_design_name	情報デザインの名称	string
4	remarks	備考	string

5.1.2.2 JSON 形式のサンプル

データモデル(DCM)およびデータ定義項目(DPD)を表す JSON 形式のサンプルを以下に示す

```
{
  "dcm_id": "dcm01",
  "data_dictionary_id": "add01 ",
  "dcm_name": "定期保全",
  "dcm_description": "定期保全の DCM",
  "author": "作成者",
  "creation_date": "2018/10/12",
  "category_dictionary_id": "scd01",
  "component_category_id": "dcc01",
  "pcm_operation_list": [
    {
      "pcm_operation_type": "create",
      "pcm_id": "pcm01",
      "service_dictionary_id": "ssd01",
      "remarks": "備考"
    }
  ],
  "information_design_list": [
    {
      "information_design_type": "区分 1",
      "information_design_id": "form01",
      "information_design_name": "帳票 1",
      "remarks": "備考"
    }
  ],
  "dpd_list": [
    {
      "dpd_name": "実施番号",
      "dpd_description": "実施番号の説明",
      "dpd_type": "string",
      "is_list": false,
      "is_required": true,
      "is_primary_key": true,
      "default_value": "",
      "sample_value": "123"
    },
    {
      "dpd_name": "設備 ID",
      "dpd_description": "設備 ID の説明",
      "dpd_type": "string",
      "is_list": false,
      "is_required": true,
      "is_primary_key": false,
      "default_value": "",
      "sample_value": "0001"
    },
    ... (省略)
  ]
}
```

5.1.3 データ定義項目(DPD)

本項では、データ定義項目(DPD)を表すデータ構造について示す。

5.1.3.1 データ構造

表 5-6: データ定義項目(DPD)のデータ構造

No.	項目名	説明	データ型
1	dpd_name	データ項目の名称	string
2	dpd_description	データ項目の説明	string
3	dpd_type	データ要素が持つ値の形式を定めたデータ型 •文字列の場合 : string •番号の場合 : scale •数値の場合 : number •日付時刻の場合 : datetime •真偽値の場合 : boolean •バルクの場合 : bulk •項目参照の場合 : reference •ファイル参照の場合 : uri	string
4	is_list	データ項目がリストであるか否かを示す。リストの場合、値は同一のデータ型を持つ一つ以上のデータ項目からなることを示す •リストの場合 : true •リストではない場合 : false	boolean
5	is_required	データ項目が必須であるか否かを示す •必須の場合 : true •必須ではない場合 : false	boolean
6	is_primary_key	データ項目が主キーであるか否かを示す。 •主キーの場合 : true •主キーではない場合 : false	boolean
7	default_value	デフォルト値	string
8	sample_value	サンプル	string

5.1.3.2 JSON 形式のサンプル

データ定義項目(DPD)を表す JSON 形式のサンプルは、「5.1.2 データモデル(DCM)」を参照のこと。

5.1.4 データ連結(DRM)

本項では、データ連結(DRM)を表すデータ構造について示す。

5.1.4.1 データ構造

表 5-7: データ連結(DRM)の項目一覧

No.	項目名	説明	データ型
1	drm_id	データ連結の ID	string
2	data_dictionary_id	所属するデータ辞書 ID	string
3	dcm_id	連結元の DCM の ID	string
4	dpd_name_list	連結に用いる DPD 名の配列。データベースにおける外部キーに相当する。対応する ID の順番は target_dpd_name_list と一致する	string の配列
5	target_dcm_id	データ連結時に連結先 DCM となる DCM の ID	string
6	target_dpd_name_list	連結先 DCM で連結に用いる DPD 名の配列。対応する ID の順番は dpd_name_list と一致する	string の配列
7	additional_dpd_name_list	追加項目。連結によって追加される新たな項目名をリストで示す。	string の配列

5.1.4.2 JSON 形式のサンプル

データ連結(DRM)を表す JSON 形式のサンプルを以下に示す。

<pre>{ "drm_id": "drm01", "data_dictionary_id": "add01", "dcm_id": "dcm01", "dpd_name_list": ["設備 ID", "点検実施日時"], "target_dcm_id": "dcm02", "target_dpd_name_list": ["設備 ID", "点検日"], "additional_dpd_name_list": ["点検値"] }</pre>

5.2 サービス辞書

5.2.1 共通サービス辞書(SSD)・個別サービス辞書(ASD)

本項では、共通サービス辞書(SSD)や個別サービス辞書(ASD)を表すデータ構造について示す。

5.2.1.1 データ構造

表 5-8: 共通サービス辞書(SSD)・個別サービス辞書(ASD)のデータ構造

No.	項目名	説明	データ型
1	service_dictionary_id	サービス辞書の ID	string
2	service_dictionary_name	サービス辞書の名称	string
3	service_dictionary_description	サービス辞書の説明	string
4	service_dictionary_type	共通サービス辞書か個別サービス辞書かの区分 •共通サービス辞書の場合 : specific •個別サービス辞書の場合 : actual	string

No.	項目名	説明	データ型
5	version	サービス辞書のバージョンを表す数字（数字が大きい方が新しい）	number
6	previous_service_dictionary_id	前バージョンのサービス辞書の ID	string
7	owner_id	サービス辞書を作成したユーザの ID	string
8	pcm_id_list	サービス辞書に所属するプロセスモデルの ID のリスト	string の配列
9	ecm_id_list	サービス辞書に所属するイベントモデルの ID のリスト	string の配列

5.2.1.2 JSON 形式のサンプル

共通サービス辞書(SSD)を表す JSON 形式のサンプルを以下に示す。

```
{
  "service_dictionary_id": "ssd01",
  "service_dictionary_name": "共通サービス辞書",
  "service_dictionary_description": "共通サービス辞書の説明",
  "service_dictionary_type": "specific",
  "version": 1,
  "previous_service_dictionary_id": null,
  "owner_id": "XXXXXXXXXX",
  "pcm_id_list": ["pcm01", "pcm02"],
  "ecm_id_list": ["ecm01", "ecm02"]
}
```

個別サービス辞書(ASD)を表す JSON 形式のサンプルは、共通サービス辞書(SSD)と同様である（例: 「service_dictionary_type」が「actual」となる）。

5.2.2 プロセスモデル(PCM)

本項では、プロセスモデル(PCM)を表すデータ構造について示す。

5.2.2.1 データ構造

表 5-9: プロセスモデル(PCM)のデータ構造

No.	項目名	説明	データ型
1	pcm_id	プロセスモデルの ID	string
2	service_dictionary_id	所属するサービス辞書の ID	string
3	pcm_name	プロセスモデルの名称	string
4	pcm_description	プロセスモデルの説明	string
5	author	作成者	string
6	creation_date	作成日	string
7	category_dictionary_id	カテゴリ辞書の ID	string
8	component_category_id	プロセスカテゴリの ID	string
9	dcm_operation_list	DCM 操作の配列	DataComponentModelOperation の配列
10	pfd_list	プロセス定義の配列	ProcessFlowDefinition の配列
11	precondition_list	事前条件の配列	ProcessCondition の配列
12	postcondition_list	事後条件の配列	ProcessCondition の配列

No.	項目名	説明	データ型
13	hardware_requirement	ハードウェア要件	string
14	other_requirement	その他要件	string

表 5-10: DCM 操作(DataComponentModelOperation)のデータ構造

No.	項目名	説明	データ型
1	dcm_id	データモデルの ID	string
2	data_dictionary_id	所属するデータ辞書の ID	string
3	operation_list	DCM に対して、行う操作の配列 •生成: create •修正: modify •入力: input •参照: refer	string の配列
4	remarks	備考	string

表 5-11: プロセス定義(ProcessFlowDefinition)のデータ構造

No.	項目名	説明	データ型
1	operation_content	操作内容	string
2	target_data	対象データなど	string

表 5-12: プロセス条件(ProcessCondition)のデータ構造

No.	項目名	説明	データ型
1	condition_type	プロセス条件の区分	string
2	condition	事前条件、および事後条件	string
3	target_data	対象データなど	string

5.2.2.2 JSON 形式のサンプル

プロセスモデル(PCM)を表す JSON 形式のサンプルを以下に示す。

```
{
  "pcm_id": "pcm01",
  "service_dictionary_id": "ssd01",
  "pcm_name": "プロセスモデル名",
  "pcm_description": "プロセスモデルの説明",
  "author": "作成者",
  "creation_date": "2018/10/12",
  "category_dictionary_id": "scd01",
  "component_category_id": "pcc01",
  "dcm_operation_list": [
    {"dcm_id": "dcm01", "data_dictionary_id": "add01", "operation_list": ["create"], "remarks": "備考"}
  ],
  "pfd_list": [
    {"operation_content": "操作内容", "target_data": "対象データ等"}
  ],
  "precondition_list": [
    {"condition_type": "区分", "condition": "条件", "target_data": "対象データ等"}
  ],
  "postcondition_list": [
    {"condition_type": "区分", "condition": "条件", "target_data": "対象データ等"}
  ],
  "hardware_requirement": "ハードウェア要件",
  "other_requirement": "その他要件"
}
```

5.2.3 イベントモデル(ECM)

本項では、イベントモデル(ECM)を表すデータ構造について示す。

5.2.3.1 データ構造

表 5-13: イベントモデル(ECM)のデータ構造

No.	項目名	説明	データ型
1	ecm_id	イベントモデル ID	string
2	service_dictionary_id	所属するサービス辞書 ID	string
3	ecm_name	イベントモデルの名称	string
4	ecm_description	イベントモデルの説明	string
5	author	作成者	string
6	creation_date	作成日	string
7	category_dictionary_id	カテゴリ辞書の ID	string
8	component_category_id	イベントカテゴリの ID	string
9	process_event_list	プロセスイベントの配列	ProcessEvent の配列
10	ecs_list	状態イベントの配列	EventComponentState の配列
11	user_operation_event	ユーザ操作イベント	UserOperationEvent の配列
12	regular_event	定期イベント	RegularEvent

No.	項目名	説明	データ型
13	other_requirement	その他の要件	string

表 5-14: プロセスイベント (ProcessEvent) のデータ構造

No.	項目名	説明	データ型
1	pcm_id	プロセスモデルの ID	string
2	process_event_type	プロセスイベント区分	string
3	condition	適用条件	string
4	target_data	対象データなど	string

表 5-15: 状態イベント (EventComponentState) のデータ構造

No.	項目名	説明	データ型
1	dcm_id	データモデル ID	string
2	state_id	状態 ID	string
3	dpd_name	データ項目名	string
4	ece	条件式	string
5	determination_method	判定方法	string

表 5-16: ユーザ操作イベント (UserOperationEvent) のデータ構造

No.	項目名	説明	データ型
1	operation_procedure_content	操作手順内容	string
2	target_object	対象とするモノなど	string

表 5-17: 定期イベント (RegularEvent) のデータ構造

No.	項目名	説明	データ型
1	repeat_interval	繰り返し間隔	number
2	repeat_interval_unit	繰り返し間隔の単位 minute, hour, day, week, month, year	string
3	repeat_count	繰り返し回数	number
4	repeat_end_date_time	繰り返し期限	string
5	daily	毎日繰り返すイベントを定義 hh:mm の形式の時間で指定する。	string
6	weekly	毎週繰り返すイベントを定義。曜日を以下の形式で指定する。 日曜日:0、月曜日:1、火曜日:2、水曜日:3、木曜日:4、金曜日:5、土曜日:6	number
7	monthly	毎月繰り返すイベントを定義。日にちを 1~31 で指定する	number

5.2.3.2 JSON 形式のサンプル

イベントモデル(ECM)を表す JSON 形式のサンプルを以下に示す。

```
{
  "ecm_id": "ecm01",
  "service_dictionary_id": "ssd01",
  "ecm_name": "イベントモデル名",
  "ecm_description": "イベントモデルの説明",
  "author": "作成者",
  "creation_date": "2018/10/12",
  "category_dictionary_id": "scd01",
  "component_category_id": "ecc01",
  "process_event_list": [
    {
      "pcm_id": "pcm01",
      "process_event_type": "区分",
      "condition": "適用条件",
      "target_data": "対象データ等"
    }
  ],
  "ecs_list": [
    {
      "dcm_id": "dcm01",
      "state_id": "状態 ID",
      "dpd_name": "項目名",
      "ece": "条件式等",
      "determination_method": "判定方法"
    }
  ],
  "user_operation_event": [
    { "operation_procedure_content": "操作手順内容", "target_object": "対象データ等" }
  ],
  "regular_event": [
    {
      "repeat_interval": 10,
      "repeat_interval_unit": "minute",
      "repeat_count": 3,
      "repeat_end_date_time": "2018-10-01T00:00:00+09:00",
      "daily": "10:00",
      "weekly": 0,
      "monthly": 1
    }
  ],
  "other_requirement": "その他要件"
}
```

5.3 変換マップ

5.3.1 辞書変換マップ(DTM)

本項では、辞書変換マップ(DTM)を表すデータ構造について示す。

5.3.1.1 データ構造

表 5-18: 辞書変換マップ(DTM)のデータ構造

No.	項目名	説明	データ型
1	dtm_id	DTM の ID	string
2	source_data_dictionary_id	変換元のデータ辞書 ID	string
3	source_dcm_id	変換元の DCM の ID	string
4	source_drm_id	変換元 DCM のデータ連結 ID。変換元 DCM が主 DCM の場合は null	string
5	destination_data_dictionary_id	変換先のデータ辞書 ID	string
6	destination_dcm_id	変換先の DCM の ID	string
7	destination_drm_id	変換先 DCM のデータ連結 ID。変換先 DCM が主 DCM の場合は null	string
8	is_tentative	仮登録か本登録かを示す •仮登録の場合: true •本登録の場合: false	boolean
9	ptm_list	項目変換マップの配列	PropertyTranslationMap の配列

5.3.1.2 JSON 形式のサンプル

辞書変換マップ(DTM)および項目変換マップ(PTM)を表す JSON 形式のサンプルを以下に示す。

```
{
  "dtm_id": "dtm01",
  "source_data_dictionary_id": "add01",
  "source_dcm_id": "dcm01",
  "source_drm_id": null,
  "destination_data_dictionary_id": "sdd01",
  "destination_dcm_id": "dcm11",
  "destination_drm_id": null,
  "is_tentative": false,
  "ptm_list": [
    {"source_dpd_name": "設備 ID", "destination_dpd_name": "設備 ID"},
    {"source_dpd_name": "点検項目", "destination_dpd_name": "点検項目"},
    {"source_dpd_name": "異常区分", "destination_dpd_name": "合格区分"},
    {"source_dpd_name": "点検実施日時", "destination_dpd_name": "実施日時"}
  ]
}
```

5.3.2 項目変換マップ(PTM)

本項では、項目変換マップ(PTM)を表すデータ構造について示す。

5.3.2.1 データ構造

表 5-19: 項目変換マップ(PTM)のデータ構造

No.	項目名	説明	データ型
1	source_dpd_name	変換元の DPD 名	string
2	destination_dpd_name	変換先の DPD 名	string

5.3.2.2 JSON 形式のサンプル

項目変換マップ(PTM)を表す JSON 形式のサンプルは「5.3.1 辞書変換マップ(DTM)」を参照のこと。

5.4 カテゴリ辞書

5.4.1 カテゴリ辞書(SCD)

本項では、カテゴリ辞書(SCD)を表すデータ構造について示す。

5.4.1.1 データ構造

表 5-20: カテゴリ辞書(SCD)のデータ構造

No.	項目名	説明	データ型
1	category_dictionary_id	カテゴリ辞書の ID	string
2	category_dictionary_name	カテゴリ辞書の名称	string
3	category_dictionary_description	カテゴリ辞書の説明	string
4	component_category_id_list	カテゴリ辞書に所属するカテゴリ ID の配列	string の配列

5.4.1.2 JSON 形式のサンプル

カテゴリ辞書(SCD)を表す JSON 形式のサンプルを以下に示す。

```
{
  "category_dictionary_id": "scd01",
  "category_dictionary_name": "カテゴリ辞書",
  "category_dictionary_description": "カテゴリ辞書の説明",
  "component_category_id_list": ["pcc01", "pcc02", "ecc01", "ecc02"]
}
```

5.4.2 データカテゴリ(DCC)・プロセスカテゴリ(PCC)・イベントカテゴリ(ECC)

本項では、データカテゴリ(DCC)やプロセスカテゴリ(PCC)、イベントカテゴリ(ECC)を表すデータ構造について示す。

5.4.2.1 データ構造

表 5-21: データカテゴリ (DCC)・プロセスカテゴリ (PCC)・イベントカテゴリ (ECC)の
データ構造

No.	項目名	説明	データ型
1	component_category_id	カテゴリの ID	string
2	category_dictionary_id	所属するカテゴリ辞書の ID	string
3	component_category_type	カテゴリの区分 • データカテゴリの場合 : data • プロセスカテゴリの場合 : process • イベントカテゴリの場合 : event	string
4	component_category_name	カテゴリの名称	string
5	component_category_description	カテゴリの説明	string

5.4.2.2 JSON 形式のサンプル

データカテゴリ (DCC)を表す JSON 形式のサンプルを以下に示す。

```
{
  "component_category_id": "dcc01",
  "category_dictionary_id": "scd01",
  "component_category_type": "data",
  "component_category_name": "カテゴリ名",
  "component_category_description": "カテゴリの説明"
}
```

プロセスカテゴリ (PCC)、イベントカテゴリ (ECC)を表す JSON 形式のサンプルは、データカテゴリ (DCC)と同様である(例: 「component_category_type」が「process」または「event」となる)。

－以上－